

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	国語表現改訂版(大修館書店)		副教材	教科書準拠基礎演習ノート、現代まるわかりBOOK	
履修条件	主として大学・短大等の上級学校に進学を希望する者で、受験で「作文・小論文」が必要となる者。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>	<p>ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり探したりすること。 イ 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うこと。 ウ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。 エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。 オ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合っって批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 カ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めること。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	書いて伝える	レッスン1～4	・言葉、表現への関心を深める。表記・係り受け・接続表現・指示表現・要約方法など文章表現の基礎を身に付ける。	24	定期考査、課題・提出物、授業への参加姿勢
	小論文・レポート入門	レッスン1～7	・作文・小論文・レポート作成について基礎・応用を学ぶ。 ・課題型、テーマ型、データ型等の各種作文・小論文の実作を行う。	24	
	自己PRと面接	レッスン1～5	・面接や言葉での表現について学ぶ。 ・副教材を用いて現代社会の重要事項を学び、意見を持つ。	24	
後期	メディアを駆使する	レッスン1～4	・さまざまな通信媒体の特徴を知り、使い方を学ぶ。	17	定期考査、課題・提出物、授業への参加姿勢
	声とコミュニケーション	レッスン1～2	・伝えるための言語表現や話し方指導を行う。	17	
	会話・議論・発表	レッスン1～3	・相手や場面に応じた会話やプレゼンテーションの工夫のしかたを学ぶ ・副教材を用いて現代社会の重要事項を学び、意見を持つ。	17	
	表現を楽しむ	レッスン2 レッスン8～9	・短歌や俳句、エッセイ・物語等の創作活動を行う。	17	

4 評価規準

計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 ・話す・聞く能力…… 目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・書く能力…… 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている ・知識・理解…… 言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・小論文、作文等の文章作成等の表現に関する演習を中心に行う。 ・調べ学習や発表等の表現活動を適宜行う。
--

教科 (科目)	国語 (現代文A)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年 (人文自然科学)
教科書	高等学校 改訂版 新編現代文A (第一学習社)	副教材	新編現代文A学習課題ノート (教科書準拠・第一学習社)		
履修条件	大学・短大の進学を考えているもの。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>	<p>ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。 ウ 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、言語文化について理解を深めること。</p>
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	新しい発見	新しい地球観 他	(随筆) ・随筆の読み方を習得し、身近なものについて考える。	7	定期考査、小テスト、課題の内容や提出状況、学習活動への参加の姿勢や態度等
	小説を読む (一)	調律師のるみ子さん	(小説) ・作品の情景、登場人物の心情を的確に把握する。	7	
	言語と文化	数え方で磨く日本語 他	(詩) ・詩的感性、幻想性をとらえ心理ドラマを味わう。	7	
	詩を味わう	生命は 他	・形式やリズム、修辞を理解する。 ・詩人の心情を理解する。	7	
後期	人間と文化	コミュニケーションの文化 他	(評論) ・論旨を的確に把握し、筆者の主張をもとに思考を深める。	7	前期と同じ
	小説を読む (三)	鼻 他	(小説) ・作品の構成を的確にとらえる。	7	
	人生の風景	出島のチューリップ 他	・描かれた人物、情景、心情を表現に即して読み味わう。	7	
	社会と文化	クマを変えてしまいう人間 他	(評論) ・ものの見方、考え方を深める。 ・近代社会と個人のあり方について考察する。	7	
後期	小説を読む (五)	いろはにこんぺいとう 他	・論理的な文章を読んで、筆者のものの見方や考え方、論の展開の仕方などを考える。	7	
	人間と社会	経験の教えについて 他	・近代から現代までの時代状況についての筆者の考えを把握し、現代について考えるきっかけとする。	7	

4 評価規準

計70時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度……文章を読む楽しさを味わい、読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 ・読む能力……目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。 ・知識・理解……言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書作品の読解・鑑賞の発展として、作者の他作品も紹介したい。
--

教科(科目)	国語(古典A)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	改訂版標準 古典A(第一学習社)	副教材	古典Aワークノート(教科書準拠・第一学習社) シンプルスタイルシリーズ古文単語301(尚文出版)		
履修条件					

<p>1 学習目標</p> <p>古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。</p>	<p>2 指導の重点</p> <p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p> <p>エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。</p>
---	---

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	古文分野 物語(一)	「伊勢物語」 「大和物語」	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。	7 7	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
			・語句、用法を理解し、内容を読み取る。		
	物語(二)	「平家物語」	・平安時代の貴族の生活や古典に描かれる文化や習慣を理解する。	7	
			・物語に描かれた登場人物の心情や行動、その背景を読み取る。		
漢文分野 故事・寓話	「助長」「逆鱗」 「推敲」 三国志	・歌物語における和歌の役割や修辞法について理解を深める。	7 7		
		・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、鑑賞を深め、伝え合う力について考える。			
		・漢文独特の語句、用法を学ぶ。			
後期	古文分野 随筆	「徒然草」 「枕草子」	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。	6 6 7	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
			・語句、用法を理解し、内容を読み取る。		
			・それぞれの随筆の特徴や、作者の感受性、機知などの特色を知る。		
	物語(二)	「大鏡」	・物語に描かれた登場人物の心情や行動、その背景を読み取り、人間の生き方について考える。	7	
			・歴史物語における人物の行動とその背景の結びつきを理解する。		
	物語(三)	「源氏物語」	・漢文独特の語句、用法を学ぶ。	7 2	
・中国思想の柱を理解する。					
漢文分野 項羽と劉邦 諸家の思想	「鴻門之会」 「孟子」「老子」	・作者の思想感情を読み取る。			

4 評価規準	計70時間(50分授業)
<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。 ・読む能力…… まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 ・知識・理解…… 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め身に付けている。 	

5 備考
・単語帳(副教材)を用いた小テストを行う。

教科(科目)	国語(古典B)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	新編 古典B改訂版(大修館書店)	副教材	教科書準拠学習課題ノート(大修館書店) 学習のポイントが見えるよむナビ古典2(いっずな書店) シンプルスタイルシリーズ古文単語301(尚文出版)		
履修条件					

1 学習目標	2 指導の重点
<p>古典としての古文と漢文を読む力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。</p>	<p>ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。</p>

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	古文に親しむ	今昔物語集	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。	6	定期考査、 小テスト、 課題・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	笑いと思案	徒然草	・語句、用法を理解し、内容を読み取る。	6	
	人がうたうとき	伊勢物語	・平安時代の貴族の生活や古典に描かれる文化や習慣を理解する。	6	
	都への思い	土佐日記	・物語に描かれた登場人物の心情や行動、その背景を読み取る。	6	
	いくさと人間	平家物語		6	
		義経記		6	
	動物の寓話	漁父之利		6	
	叙情のしらべ	唐詩	・時代時代の思想や、社会のあり方を現代と比較しながら考える。	6	
	英雄の物語(一)	鴻門の会	・漢文独特の語句、用法を学ぶ。	10	
	理想の世界	桃花源記	・唐詩の表現の特徴を知り、詩的世界を味わう。	4	
	古潭	・歴史の一場面を理解し、物語世界を味わう。	4		
	人間の本質	諸子百家		4	
後期	知恵の働き	宇治拾遺物語	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。	7	定期考査、 小テスト、 課題・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	宮中の生活	枕草子	・語句、用法を理解し、内容を読み取る。	7	
	歴史と人間	大鏡	・それぞれの随筆の特徴や、作者の感受性、機知などの特色を知る。	7	
	女性の視点	紫式部日記	・物語に描かれた登場人物の心情や行動、その背景を読み取り、人間の生き方について考える。	3	
	恋のうた	百人一首	・歴史物語における人物の行動とその背景の結びつきを理解する。	8	
	自然と人生	発句でたどる奥の細道	・漢文独特の語句、用法を学ぶ。	8	
	家族を思う	雨月物語	・長詩の物語的世界を味わい、歴史の一端を理解する。	5	
	説得の技	先従隗始	・作者の思想感情を読み取る。	8	
	人生と社会	子夜呉歌、他		5	
	英雄の物語(二)	三国志		5	
生きる知恵	小国寡民				

4 評価規準	計140時間(50分授業)
<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。 ・読む能力…… まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。 ・知識・理解…… 伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め身に付けている。 	

5 備考
<ul style="list-style-type: none"> ・4単位のうち、1単位相当は副教材を用いた演習問題の解法解説となるよう配慮する。 ・前期は基本的な古典常識の理解に重きを置く。 ・2年次に古典Aを履修していることが望ましい。 ・百人一首かるたや調べ学習・発表等も適宜行っていく。

教科（科目）	地理歴史（世界史B）	単位数	4単位	学年(系列)	2学年（人文自然科学系列）
教科書	新選世界史B（東京書籍）	副教材	ダイアログ世界史図表 新版（第一学習社）、 新選世界史Bワークノート（東京書籍）		
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 世界史に関する興味・関心を高め、意欲的に学習する態度を育成。 世界史の大きな枠組みと流れを、我が国を含む諸地域世界の歴史と関連付けながら理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な事項を中心に、生徒の興味・関心をふまえた指導内容を実施する。 史料や地図などを多く活用し、日本史や地理などと関連づけながら授業を実施する
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	文明と地域世界の形成	視聴覚教材など	・オリエント・ギリシア・ローマ・インド・中国の文明の特徴と共通点をおさえさせる。	35	定期考査 課題（提出物） 授業態度 出席状況 小テスト
	諸地域世界の交流と再編		・イスラーム世界・中世ヨーロッパ世界・モンゴル世界の社会・文化の特徴をおさえさせる。	23	
			・明・清帝国、イスラーム世界の発展などをおさえさせる。	12	
後期	諸地域世界の結合と変容	視聴覚教材など	・ルネサンス・大航海時代などヨーロッパ世界の膨張の経過を理解させる。 ・市民革命・産業革命など諸力が近代市民社会をつくる原動力となったことを理解させる。 ・ヨーロッパ世界のアジア進出の実態を理解させる。	10 10 15	定期考査 課題（提出物） 授業態度 出席状況 小テスト
			・2つの世界大戦の原因とそれが世界に与えた衝撃を明らかにさせる。	18	
			・冷戦とそれが国際政治・軍事に与えた影響の強さを明らかにする。	17	
	地球世界の形成				

4 評価規準

計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度…授業に積極的に参加し、世界史に関する様々なテーマについて関心を持って、意欲的にそれらを探究する態度を身につけようとしている。 思考・判断・表現…世界の歴史の展開から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。 資料活用の技能…資料集や史料などの視聴覚教材を積極的に活用し、歴史に対する理解を深めようとしている。 知識・理解…定期考査や課題プリントを中心に評価をする。 古世界の政治、経済、社会、文化、宗教、生活の各領域における歴史的事象を理解し、基本的な知識を身につけようとしている。 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解している。

5 備考

1年次に履修した「世界史A」を踏まえて、帝国主義以降の時代を中心に授業展開する。
--

教科（科目）	地理歴史（日本史B）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	新選日本史B（東京書籍）	副教材	日本史のアーカイブ（とうほう）、 新選日本史Bワークノート（東京書籍）		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

我が国の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、世界史的視野にたって総合的に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の文化と伝統の特色について認識を深める。 ・歴史的思考力を培う。 ・国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
前期	古代国家の形成と貴族文化の誕生 武家社会の形成と生活文化のめばえ 近世社会の形成と庶民文化の展開	DVD「堂々日本史「いま蘇る日本の歴史」 CD「音の日本史」等の視聴覚教材	①原始社会の生活と文化	10	定期考査	
			②農耕社会と大陸文化の摂取	10	課題（提出物）	
			③律令国家の形成と古代文化の展開	10	授業態度	
			④摂関政治と文化の和様式	10	出席状況 小テスト	
後期	近代国家の形成と国民文化の発展	DVD「堂々日本史「いま蘇る日本の歴史」 CD「音の日本史」等の視聴覚教材	①中世社会の成立	15		
			②武家社会の形成と東アジア	15		
			①ヨーロッパ文化との接触と国内統一	10	定期考査	
			②幕藩体制の成立	10	課題（提出物）	
	現代の世界と日本			③近世社会の発達と町人文化	5	授業態度
				④幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	5	出席状況 小テスト
				①開国から明治維新へ	5	
				②立憲政治の形成と国民文化	5	
				③日本の近代化と東アジア	5	
				④デモクラシーと第一次世界大戦	5	
			⑤激動する世界と日本	5		
			①占領と国内改革	4		
			②国際社会への復帰と高度経済成長	4		
			③石油危機と低成長の時代	4		
			④新しい国際秩序と日本の課題	3		

4 評価規準

計140時間（50分授業）

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・授業を意欲的に取り組み、日本史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもって、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。 ・思考・判断・表現・・・世界の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 ・資料活用の技能・・・歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめたりすることができる。 ・知識・理解・・・主として定期考査や課題プリントで、日本の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けながら理解し、その知識を身につけようとしている。

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の必修日本史Aの学習を踏まえ、適宜関連させながら古代からの学習内容を深めていく。
--

教科(科目)	地歴公民(地理B)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)	副教材	フォトグラフィア地理図説(とうほう) 新詳地理Bノート(帝国書院)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の一体化に注目するとともに、地図や写真を活用して主体的に学ぶ力を養う。 ・中学校からの関連性なども考慮し、授業を実施する。 ・地球儀や様々な地図の活用及び地域調査などの活動を通して、地図の有用性に気付かせるとともに、地理的技能を身に付けさせる。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	様々な地図と地理的技能	「音の地理」等の視聴覚教材 「地形図」	①地理情報と地図	1 8	定期考査
			②地図の活用と地域調査	1 7	課題(提出物) 授業態度
	①自然環境		1 8	出席状況	
	②資源と産業		1 7	小テスト	
後期	現代世界の地誌的考察	「映像の地理」等の視聴覚教材	③人口、都市・村落	1 8	定期考査
			④生活文化、民族・宗教	1 7	課題(提出物) 授業態度
			①現代世界の地域区分	1 2	出席状況
			②現代社会の諸地域	1 2	小テスト
			③現代世界と日本	1 1	

4 評価規準

計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・授業を意欲的に取り組み、世界の自然・産業・生活文化・現代の環境問題などの諸事象を、関心をもって考察しようとしている。 ・思考・判断・表現・・・世界の地理的事象と諸課題を、日本の地理と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 ・資料活用の技能・・・地理に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。 ・知識・理解・・・主として定期考査や課題プリントで、世界地理、日本地理についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・地図の読図、地理情報の地図化などの作業活動を定期的に取り入れる。 ・視聴覚教材やインターネットなども活用した調べ学習を取り入れ、情報をまとめて発表する場も取り入れたい。
--

教科（科目）	公民（政治経済）	単位数	2単位	学年(系列)	2学年（人文自然科学系列）
教科書	最新 政治・経済 新訂版 （実教出版）	副教材	テーマ別資料政治・経済（とうほう） 最新政治・経済演習ノート（実教出版）		
履修条件	40人以内				

1 学習目標

2 指導の重点

主権者として必要な政治・経済の知識や社会的事象の捕らえ方を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の基本原則を習得させる ・資本主義経済の特徴や法則を習得させる ・国際政治の基本や国連の役割を習得させる
-------------------------------------	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第一編 現代の政治	新聞記事の切り抜きなど	第1章 民主政治の基本原則	8	定期考査 課題 授業態度 出席状況 小テスト
			第2章 日本国憲法の基本的性格	4	
			第3章 日本の政治機構 国会・内閣・裁判所	8	
			第4章 現代日本の政治 選挙・政治参加と世論	7	
			第5章 現代の国際政治 国際政治・国際平和と地域紛争	8	
後期	第二編 現代の経済	新聞記事の切り抜きなど	第1章 経済社会の変容 資本主義経済の特徴	4	定期考査 課題 授業態度 出席状況 小テスト
			第2章 現代経済のしくみ 市場機構・金融・財政	7	
			第3章 現代経済の福祉の向上	8	
			第4章 世界経済と日本 国際収支・日本経済の国際化	10	
	第三編 現代社会の課題		現代社会の諸課題	6	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…授業を意欲的に取り組み、現代の政治、経済、国際関係について関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。 ・思考・判断・表現…現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。 ・資料活用の技能…現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 ・知識・理解…定期考査や課題を中心に、現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃から事件やニュースに注目して、現代の政治、経済、国際関係について関心を高めて欲しいと思います。

教科(科目)	数学(数学Ⅱ)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	数学Ⅱ Standard(東京書籍)	副教材	Standard Buddy STAGE 数学Ⅱ+B(東京書籍)		
履修条件	「数学Ⅰ」を履修していること				

1 学習目標

2 指導の重点

式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。	既習内容を確認するとともに、式と証明・高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数及び微分積分の考えについて理解させ、反復練習などで知識の習得と技能の習熟を図り、発展問題を通して事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	・方程式、式と証明	Standard Buddy STAGE 数学Ⅱ+B	1節 整式・分数式の計算	10	・定期考査 ・単元テスト ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート、課題提出
			2節 2次方程式	10	
			3節 高次方程式	10	
			4節 式と証明	10	
	・図形と方程式		1節 点と直線	10	
			2節 円	10	
後期	・三角関数	1節 三角関数	10	・定期考査 ・単元テスト ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート、課題提出	
		2節 加法定理	10		
	・指数関数 対数関数	1節 指数関数	8		
		2節 対数関数	12		
	・微分と積分	1節 微分係数と導関数	8		
		2節 導関数の応用	10		
3節 積分		12			

4 評価規準

計 140 時間 (50 分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・数学の良さを認識し新しい内容を身につけようとしている。また、数学を活用しようとしている。 ・数学的な見方や考え方・・・着目する問題の中に数学的な構造を見つけ、問題を解決しようとしている。 ・数学的な技能・・・公式や定理を正しく用いることができる。また、数学的用語や記号を用いて筋道立てた考えを述べることができる。 ・知識・理解・・・公式や定理を正確に身につけている。数学的概念を理解している。

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・「数学Ⅰ」の内容をさらに深めた内容です。 ・3年次「数学Ⅲ」の履修を希望する場合、本校では「数学Ⅱ」と「数学B」を履修している必要があります。 ・進路に数学が必要な者は、2年次に「数学Ⅱ」を学習することが望ましい。
--

教科(科目)	数学(数学Ⅲ)	単位数	6単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	新編数学Ⅲ(東京書籍)	副教材	ニューアシスト新編数学Ⅲ(東京書籍)		
履修条件	「数学Ⅱ」「数学B」を履修していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>平面上の曲線と複素平面，極限，微分法及び積分法についての理解を深め，知識の習得と，技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。</p>	<p>関数概念とその初等的な例，極限の概念から始まり，数学Ⅱに続く微積分法の発展を主として学習する。各分野の基本的な知識の習得と技能の習熟を目標とし，結果として得られた数学の力が，それぞれの進路について貢献できるように指導を行う。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法			
前期	1 章平面上の曲線	ニューアシスト新編数学Ⅲ 理解しやすい数学Ⅲ	1 節 2次曲線 放物線，楕円，双曲線，2次曲線	17	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト 授業への取り組み 出欠席 ノート，課題提出 			
			2 節 媒介変数表示と極座標 媒介変数表示，極座標と曲方程式	18				
			1 節 複素数平面 複素数平面，複素数の極形式	17				
	2 章複素数平面		2 節 複素数の応用 ド・モアブルの定理，図形への応用	18				
			1 節 関数 分数関数，無理関数，逆関数と合成関数	10				
			2 節 数列の極限 数列の極限，無限級数	12				
	3 章関数の極限		3 節 関数の極限 関数の極限，関数の連続性	13				
			4 章・微分	ニューアシスト新編数学Ⅲ 理解しやすい数学Ⅲ		1 節 微分法 導関数，積・商の微分法，合成関数の微分法	15	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 単元テスト 授業への取り組み 出欠席 ノート，課題提出
						2 節 いろいろな関数の導関数 三角関数・対数関数・指数関数の導関数，高次導関数	20	
1 節 接線，関数の増減 平均値の定理，関数の増減，極大・極小，第2次導関数	17							
2 節 いろいろな微分の応用 最大・最小，方程式・不等式への応用，速度・加速度	18							
5 章微分の応用	1 節 不定積分 不定積分，置換積分法，部分積分法	12						
	2 節 定積分 定積分，偶関数と奇関数，置換積分法，部分積分法	12						
		3 節 定積分の応用 面積，体積，曲線の長さ，区分求積法，定積分と不等式	11					
6 章積分とその応用								

4 評価規準

計210時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度・・・学習に関心を持つとともに，学習内容を事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断している。 数学的な見方や考え方・・・事象を数学的に考察・表現をしたり，思考の過程を振り返り考えることを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 数学的な技能・・・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技術を身につけている。 知識・理解・・・基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> 2年次に「数学Ⅱ」を履修している必要があります。 2年次に「数学B」を履修していること。「数学B」の内容を利用します)
--

教科(科目)	数学(数学B)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	数学B Standard(東京書籍)	副教材	Standard Buddy STAGE 数学II+B(東京書籍)		
履修条件	「数学I」を履修した後に履修すること。「数学II」と同時に選択していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>	<p>数列、ベクトルについて、概念および用語の意味を理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。規則性を調べたり、大きさと向きを持った量について考えたりする。数学的な見方、考え方を身に付けることができるように授業を進めていく。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	数列	Standard Buddy STAGE 数学II+B	1節 数列 ①数列 ②等差数列 ③等差数列の和 ④等比数列 ⑤等比数列の和	10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			2節 いろいろな数列 ①数列の和と記号Σ ②階差数列と数列の和 ③いろいろな数列	12	
			3節 漸化式と数学的帰納法 ①漸化式 ②数学的帰納法	13	
後期	ベクトル	Standard Buddy STAGE 数学II+B	1節 平面上のベクトル ①有効線分とベクトル ②ベクトルの加法・減法・実数倍 ③ベクトルの成分 ④ベクトルの内積	8	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			2節 ベクトルの応用 ①位置ベクトル ②ベクトルの図形への応用 ③ベクトル方程式	10	
			3節 空間におけるベクトル ①空間座標 ②空間のベクトル ③ベクトルの内積 ④位置ベクトルと空間の図形	17	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・数学の良さを認識し新しい内容を身につけようとしている。また、数学を活用しようとしている。 ・数学的な見方や考え方・・・着目する問題の中に数学的な構造を見つけ、問題を解決しようとしている。 ・数学的な技能・・・公式や定理を正しく用いることができる。また、数学的用語や記号を用い筋道立てて考えを述べることができる。 ・知識・理解・・・公式や定理を正確に身につけている。数学的概念を理解している。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・「数学I」で学習した内容を利用します。 ・「数学II」と同時に選択していること。(「数学II」の内容と関連しています。) ・3年次に「数学III」を学習する場合、「数学B」の内容を利用します。2年次に「数学B」を選択していること。
--

教科(科目)	数学(数学B)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	数学B Standard(東京書籍)	副教材	Standard Buddy STAGE 数学II+B(東京書籍)		
履修条件	「数学I」を履修した後に履修すること。2年次に「数学II」を選択し、「数学B」は選択していないこと。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>数列、ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的に考察し処理する能力を育てるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>	<p>数列、ベクトルについて、概念および用語の意味を理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図る。規則性を調べたり、大きさと向きを持った量について考えたりする。数学的な見方、考え方を身に付けることができるように授業を進めていく。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	数列	Standard Buddy STAGE 数学II+B	1節 数列 ①数列 ②等差数列 ③等差数列の和 ④等比数列 ⑤等比数列の和	10	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			2節 いろいろな数列 ①数列の和と記号 Σ ②階差数列と数列の和 ③いろいろな数列	12	
			3節 漸化式と数学的帰納法 ①漸化式 ②数学的帰納法	13	
後期	ベクトル	Standard Buddy STAGE 数学II+B	1節 平面上のベクトル ①有効線分とベクトル ②ベクトルの加法・減法・実数倍 ③ベクトルの成分 ④ベクトルの内積	8	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			2節 ベクトルの応用 ①位置ベクトル ②ベクトルの図形への応用 ③ベクトル方程式	10	
			3節 空間におけるベクトル ①空間座標 ②空間のベクトル ③ベクトルの内積 ④位置ベクトルと空間の図形	17	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・数学の良さを認識し新しい内容を身につけようとしている。また、数学を活用しようとしている。 ・数学的な見方や考え方・・・着目する問題の中に数学的な構造を見だし、問題を解決しようとしている。 ・数学的な技能・・・公式や定理を正しく用いることができる。また、数学的用語や記号を用い筋道立てて考えを述べることができる。 ・知識・理解・・・公式や定理を正しく身につけている。数学的概念を理解している。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・「数学I」で学習した内容を利用します。 ・2年次に「数学II」を履修し、「数学B」は履修していないこと

教科（科目）	理科（物理基礎）	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	数研出版 改訂版 物理基礎	副教材			
履修条件	特記事項なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>・物理的な事物・現象についての観察・実験などを通し、自然に対する関心や探求心を高め、物理学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的自然観を育てる。</p>	<p>・物理学の基本的な概念の形成を図る。 ・物理学的に探求する方法の習得を目指す。 ・以上を通して科学的な思考力・判断力・表現力を育成する。</p>
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1編 運動とエネルギー	上記教科書	第1章 運動の表し方		授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
			1.速度	4	
			2.加速度	3	
			3.落体の運動	4	
			第2章 運動の法則		
			1.力とそのはたらき	2	
			2.力のつりあい	2	
			3.運動の法則	4	
			4.摩擦を受ける運動	4	
			5.液体や気体から受ける力	2	
			第3章 仕事と力学的エネルギー		
			1.仕事	3	
2.運動エネルギー	2				
3.位置エネルギー	2				
4.力学的エネルギーの保存	3				
後期	第2編 熱	上記教科書	第1章 熱とエネルギー		授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
			1.熱と熱量	2	
			2.熱と物質の状態	2	
			3.熱と仕事	2	
	4.不可逆変化と熱機関		1		
	第3編 波		第1章 波の性質		
			1.波と媒質の運動	4	
			2.波の伝わり方	3	
			第2章 音		
	1.音の性質		4		
	2.発音体の振動と共振・共鳴		3		
	第4編 電気		第1章 物質と電気		
1.電気の性質		3			
2.電流と電気抵抗		4			
3.電気とエネルギー		2			

			第2章 磁場と交流		
			1.電流と磁場	3	
			2.交流と電磁波	2	

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準

「関心・意欲・態度」…	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
「思考・判断・表現」…	自然の事物・現象の中に問題を見出し、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。
「観察・実験の技能」…	学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察することができる。
「知識・理解」…	学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 備考

--

教科（科目）	理科（物理）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	数研出版 改訂版 物理	副教材	なし		
履修条件	物理基礎を履修していること				

1 学習目標

2 指導の重点

物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・物理基礎との関連を考慮しながら物理学の基本的な概念の形成を図る。 ・物理学的に探求する方法の習得を目指す。 ・以上を通して科学的な思考力・判断力・表現力を育成する。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1編 力と運動	上記教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・平面内の運動 ・剛体 ・運動量の保存 ・円運動と万有引力 	10	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	第2編 熱と気体		<ul style="list-style-type: none"> ・気体のエネルギーと状態変化 	8	
	第3編 波		<ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わり方 ・音の伝わり方 ・光 	12 10 8	
後期	第4編 電気と磁気	上記教科書及び副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・電場 ・電流 ・電流と磁場 ・電磁誘導と電磁波 	15 15 16 12	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	第5編 原子		<ul style="list-style-type: none"> ・電子と光 ・原子と原子核 	6 4	

4 評価規準

計140時間(50分授業)

「関心・意欲・態度」…	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
「思考・判断・表現」…	自然の事物・現象の中に問題を見出し、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。
「観察・実験の技能」…	学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察することができる。
「知識・理解」…	学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 備考

--

教科（科目）	理科（化学）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(人文自然科学系列)
教科書	東京書籍 改訂 新編 化学	副教材	なし		
履修条件	特記事項なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・化学基礎との関連を考慮しながら化学の基本的な概念の形成を図る。 ・化学的に探求する方法の習得を目指す。 ・以上を通して科学的な思考力・判断力・表現力を育成する。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法		
前 期	第1編 物質の状態	上記教科書	1章 物質の状態				
			物質の三態		2	授業態度	
			気体・液体間の状態変化		4	発問評価	
			2章 気体の性質				
			気体 気体の状態方程式		5	ノート提出	
			3章 溶液の性質				
			溶解 希薄溶液の性質 コロイド		6	実験報告書	
			4章 化学結合と固体の構造				
			結晶の種類と性質 金属結晶の構造		2	小テスト	
			イオン結晶の構造 分子結晶の構造		2		
	共有結合の結晶と非晶質		2				
	第2編 化学反応とエネルギー			1章 化学反応と熱・光			
				反応熱と熱化学方程式		4	
				ヘスの法則 光とエネルギー		5	
				2章 電池と電気分解			
	電池 水溶液の電気分解		6				
第3編 化学反応の速さと平衡			1章 化学反応の速さ				
			反応の速さ 反応速度を変える条件		6		
			反応のしくみ		3		
			2章 化学平衡				
			可逆反応と化学平衡 平衡の移動		5		
			3章 電解質水溶液の平衡				
電離平衡 水の電離平衡と pH		5					
塩と化学平衡		3					
第4編 無機物質			1章 周期表と元素		2		
			2章 非金属元素の単体と化合物				
			水素と希ガス		2		
			ハロゲンとその化合物		3		
			酸素・硫黄とその化合物		3		
			窒素・リンとその化合物		3		
炭素・ケイとその化合物		2					

後 期	第5編 有機化合物	3章 典型金属元素の単体と化合物 アルカリ金属とその化合物 2族元素とその化合物 1・2族の典型金属元素とその化合物 4章 遷移元素 遷移元素とその化合物 金属イオンの分離・確認 5章 無機物質と人間生活 金属の利用 合金 セラミックス 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 飽和炭化水素 不飽和炭化水素 有機化合物の分析 3章 アルコールと関連化合物 アルコールとエーテル アルデヒドとケトン カルボン酸 油脂とセッケン 4章 芳香族化合物 芳香族炭化水素 酸素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物 5章 有機化合物と人間生活 染料・医薬品 合成洗剤 食品	2 2 4 6 3 2 3 5 3 4 3 3 2 2 4	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト
	第6編 高分子化合物	1章 天然高分子化合物 高分子化合物の分類と特徴 単糖類・二糖類 多糖類 アミノ酸 タンパク質 核酸 2章 合成高分子化合物 合成高分子化合物 合成繊維 プラスチック（合成樹脂） ゴム 3章 高分子化合物と人間生活 機能性高分子 プラスチックの再生処理	3 3 3 3 2 2 2 1	

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

- 「関心・意欲・態度」… 自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
- 「思考・判断・表現」… 自然の事物・現象の中に問題を見出し、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。
- 「観察・実験の技能」… 学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察することができる。
- 「知識・理解」… 学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 備考

化学基礎との関連が深いので、化学基礎で学んだことをしっかりと身につけておくこと。

教科（科目）	理科（生物基礎）	単位数	2単位	年次(系列)	2年次(人文自然科学系列)
教科書	数研出版 改訂版 新編 生物基礎	副教材	数研出版 浜島書店	四訂版 リードLight ニューステージ生物図表	ノート生物基礎
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験等を行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目で取り扱われる生物の基本的知識の定着 ・顕微鏡操作など基本的な実験操作技術の定着 ・生物全般に共通してみられる生命活動のしくみと、環境によって多様化した生命の広がりを考えることができる力の育成
---	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1章 生物の特徴	上記教科書 及び副教材 等	第1節 生物の多様性と共通性	3	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト等
			第2節 代謝とエネルギー	5	
			第3節 光合成と呼吸	5	
	第2章 遺伝子とそのはたらき		第1節 遺伝子とDNA	3	
			第2節 DNAの構造と遺伝情報	4	
			第3節 遺伝情報とタンパク質の合成	4	
			第4節 遺伝情報の分配と細胞の分化	4	
	第3章 生物の体内環境とその維持		第1節 体内環境としての体液	4	
			第2節 腎臓と肝臓による調節	4	
後期	第3章 生物の体内環境とその維持	第3節 自律神経系と内分泌系による調節	7	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト等	
		第4節 免疫	7		
	第4章 植生の多様性と分布	第1節 多様な植生	3		
		第2節 植生の移り変わり	3		
		第3節 気候とバイオーム	4		
	第5章 生態系とその保全	第1節 生態系とその成り立ち	3		
		第2節 物質の循環とエネルギーの流れ	4		
		第3節 生態系のバランスと保全	3		

計70時間（50分授業）

4 評価規準

「関心・意欲・態度」…	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
「思考・判断・表現」…	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
「観察・実験の技能」…	観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
「知識・理解」…	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

教科(科目)	理科(生物)	単位数	4単位	年次(系列)	3年次(人文自然科学系列)
教科書	東京書籍 スタンダード生物	副教材	東京書籍 ニューサポート スタンダード生物 浜島書店 ニューステージ生物図表(2年次から使用)		
履修条件	生物基礎(2年次)を履修していること				

1 学習目標

2 指導の重点

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。	「生物基礎」との関連を考慮しながら、生物学の基本的な概念の形成を図るとともに、生物学的に探究する方法の習得を通して、科学的な思考力、判断力及び表現力を育成する。
--	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1編 生命現象と物質	上記教科書及び副教材等	1章 生体物質と細胞	8	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト等
			2章 生命現象を支えるタンパク質	10	
			3章 代謝とエネルギー	8	
	2編 遺伝子のはたらき		1章 DNAの構造と複製	6	
			2章 遺伝情報の発現	6	
			3章 遺伝子の発現調節	6	
			4章 バイオテクノロジー	4	
	3編 生殖と発生		1章 多様な個体が生じる有性生殖	6	
			2章 動物の発生	6	
3章 動物の発生のしくみ		6			
4章 植物の発生		6			
後期	4編 生物の環境応答	上記教科書及び副教材等	1章 動物の刺激の受容と反応	8	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト等
			2章 動物の行動	8	
			3章 植物の環境応答	8	
	5編 生態と環境		1章 生物の多様性と生態学	6	
			2章 個体群と生物群集	6	
			3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ	6	
			4章 生態系と生物多様性	6	
	6編 生物の進化と系統		1章 生命の起源と生物の変遷	8	
			2章 進化のしくみ	8	
			3章 生物の系統	4	

計140時間(50分授業)

4 評価規準

「関心・意欲・態度」…	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
「思考・判断・表現」…	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
「観察・実験の技能」…	観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
「知識・理解」…	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

教科(科目)	外国語 (コミュニケーション英語Ⅲ)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年 (人文自然科学系列)
教科書	Power On English Communication III (東京書籍)	副教材	Power On English Communication III WORKBOOK (東京書籍) Listening Pilot Level 2.5 (東京書籍) Watching NEWS (浜島書店)		
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力や基本的な文法力を養成する。 ・身近な話題についての英文を読解する力を養成する。 ・基本的なコミュニケーション能力を養成する。 ・言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解する。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	Lesson 1	主語と述語動詞	絵文字	4	定期考査 実力テスト リスニングテスト パフォーマンステスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 2	パラグラフと話題文	オリンピックと話題文	4	
	Lesson 3	文章の構成	動物の歯科医	4	
	Lesson 4	ディスコースマーカー ①列挙	出合いの最初の4分	4	
	Lesson 5	ディスコースマーカー ②因果関係	プロサーファー、大原洋人選手	4	
	Lesson 6	付帯状況を表す with	ハロウィーンの起源と歴史	10	
	Lesson 7	対比を表す接続詞	イグ・ノーベル賞	10	
	Lesson 8	関係代名詞 what	写真家、松本紀生さん	10	
	Lesson 9	while[when](+S+be 動詞)	紅茶の歴史	10	
	Lesson 10	否定を表す形容詞・副詞	水と生き物の関係	10	
後 期	Lesson 11	to+have+過去分詞	1万時間の法則	14	定期考査 実力テスト リスニングテスト パフォーマンステスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 12	関係代名詞の非制限用法	地下鉄道と女性指導者	14	
	Lesson 13	現在の可能性・推量を表す助動詞 might	変化し続ける英語	14	
	Lesson 14	強調構文	ホセ・ムヒカ元ウルグアイ大統領のメッセージ	14	
	Lesson 15	as if+仮定法過去	イヌと人間の異文化コミュニケーション	14	
				計140時間 (50分授業)	

4 評価規準

<p>関心・意欲・態度：コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>表現の能力：話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p>理解の能力：聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>言語や文化についての知識・理解：活動学習内容についての基本的知識が得られている。背景の文化を理解している。</p>

5 備考

人文自然科学系列選択者履修科目

教科(科目)	外国語(英語表現 I)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(人文自然科学系列)
教科書	Vision Quest English Expression I Core (啓林館)	副教材	Vision Quest 総合英語 2nd edition (啓林館) Vision Quest 英語表現 I Core ワークブック(啓林館)		
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎レベルの英語会話やセンテンスを聞き取ることができる。 ・基礎レベルのセンテンスを読むことができる。 ・基礎レベルの英語会話の受け答えができる。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	Lesson 1	紹介	文の種類(平叙文、疑問文、命令文、感嘆文)	6	定期考査 実力テスト 小テスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 2	興味・関心	文型と動詞(文の成り立ち、SV、,SVC、SVO/SVOO/SVO)	6	
	Lesson 3	旅行	時制「現在」、「過去」、「未来」についての表現	6	
	Lesson 4	スポーツ	完了形(現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形)	6	
	Lesson 5	食事	助動詞	6	
	Lesson 6	観光	受動態	6	
後期	Lesson 7	交際	不定詞(名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法、意味上の主語、疑問詞+to 不定詞)	6	定期考査 実力テスト 小テスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 8	娯楽	動名詞	6	
	Lesson 9	ルール	分詞	6	
	Lesson 10	文化	関係詞	6	
	Lesson 11	社会	比較	5	
	Lesson 12	悩み事	仮定法	5	
				計70時間(50分授業)	

4 評価規準

<p>関心・意欲・態度:向上心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。課題の提出状況</p> <p>表現の能力:英語による基本的なコミュニケーションができる。自分の考えや状況を表現できる。</p> <p>理解の能力:英語を読んだり聞いたりして、その意向を理解できる。</p> <p>言語や文化についての知識・理解:活動学習についての基本的知識が得られ、背景の文化を理解している。</p>
--

5 備考

1クラス2展開の少人数クラス編成

教科(科目)	外国語（英語表現Ⅱ）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年（人文自然科学系列）
教科書	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE（桐原書店）	副教材	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE Workbook（桐原書店）		
履修条件	2年次に英語表現Ⅰを履修していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語表現Ⅰ」の学習を踏まえ、英語による表現力を伸ばす。 ・広く言葉への関心を高め、豊かな言語観、表現力を養う。 ・幅広い生き方や価値観・世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの考え、表現する姿勢を培う。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	Part 1				
	Lesson 1	文の構造	自分について語る 自己紹介の英文を書く	4	定期考査
	Lesson 2	SVOC	日記を書く	4	実力テスト
	Lesson 3	日本語で表されない主語 形式主語の it	面白かったり、心に残ったりした出来事について対話したり、書いたりする	4	小テスト 課題の提出
	Lesson 4	無生物主語	興味を持ったニュースについて対話したり、書いたりする	4	授業態度 学習意欲
	Lesson 5	現在形／現在進行形 過去形／過去進行形	好きな外国の料理やおすすめのレストランについて対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 6	現在完了形 過去完了形	クラブ活動や趣味について対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 7	未来を表す表現	クラブや地域の行事の予定や内容対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 8	助動詞	自分が希望するホームステイについて対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 9	受動態	世界遺産や観光名所について対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 10	不定詞（名詞的用法） 動名詞	将来つきたい職業について対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 11	名詞節	健康な生活を送るために必要なことについて対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 12	名詞を修飾する語句	お祝いのカードを贈りたい相手について対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 13	関係代名詞 関係副詞	好きな本・漫画・映画について対話したり、書いたりする	4	
	Lesson 14	前置詞と関係代名詞 関係詞の非制限用法	観光スポットについて対話したり、書いたりする	4	
Lesson 15	不定詞（副詞的用法） 分詞構文	自分の心に残っている言葉について対話したり、書いたりする	4		

後 期	Lesson 16	副詞節	電子辞書を使う利点と欠点について対話したり、書いたりする	4	定期考査 実力テスト 小テスト 課題の提出 授業態度 学習意欲	
	Lesson 17	否定語 部分否定	他の国人に体験してほしい日本文化について対話したり、書いたりする	4		
	Lesson 18	比較 原級 比較級 最上級	自分が住む町で紹介したいことについて対話したり、書いたりする	4		
	Lesson 19	原級 比較級 最上級を 用いた表現	自分のクラブ活動、クラス、学校などについて対話したり、書いたりする	4		
	Lesson 20	仮定法過去（過去完了）	留学したい場所や何を恋しく思うかについて対話したり、書いたりする	4		
	Part 2					
	Lesson 1	「時間の順序」を示すパ ラグラフを書く	錦織圭選手について英文を書く	6		
	Lesson 2	「分類」を示すパラグラ フを書く	スポーツを分類するパラグラフを書く	6		
	Lesson 3	「比較・対照」を示すパラ グラフを書く	スパゲティとラーメンの違いを説明するパラ グラフを書く	6		
	Lesson 4	「原因（理由）・結果」を 示すパラグラフを書く	サッカーが世界中で人気がある理由を説明す るパラグラフを書く	6		
	Lesson 5	「意見・主張」を述べるパ ラグラフを書く	「制服の廃止」について自分の意見を述べる パラグラフを書く	6		
	Part 3					
	Lesson 1	スモールトーク レシテーション&スピーチ	将来なりたい職業について会話する 人に何かを呼びかけるスピーチをする	6		
	Lesson 2	プレゼンテーション	プレゼンテーションをする	6		
	Lesson 3	ディスカッション	ディスカッションをする	6		
	Lesson 4	ディベート	ディベートをする	6		
	Lesson 5			6		

計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

関心・意欲・態度：積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。
 表現の能力：話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。
 理解の能力：聞いたりよんだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。
 言語や文化についての知識・理解：言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。

5 備考

ALT とのチームティーチングあり

教科 (科目)	農 業 (農業と環境)	単位数	4 単位	学 年 (系 列)	2 学年 (農産・加工系列)
教科書	農文協 農業と環境	副教材	特になし		
履修条件	「果樹」を同時履修すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協調性、主体性をもち、責任ある行動の取りながら農業に関する課題を解決する知識や方法を理解する。 ・ 農業の現状を把握し、地域の在り方を考える。 ・ 農業と環境問題の関係性や課題の解決方法を実験・実習を通して学ぶ。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	① 農業・環境学習とは	稲作栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業(プロジェクト学習)に関心を持ち、実践しようとする意欲と態度を身に付ける。 ・ 人間と他の生物との関係、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について関心を持ち、探求しようとする意欲と態度を身に付ける。 ・ 野菜の栽培を通して、農機具の使い方や、圃場の環境の仕組みや改善の方法を学ぶ。 ・ 食と農業の現状や動向、課題に関心をもつ。 ・ 世界規模の環境問題や身近な環境問題を学び、解決の方法や世界の取り組みについて理解を深める。 	10	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	② 作物の特性と栽培の仕組み	春・夏野菜栽培		20	
	③ 作物をとりまく環境とその管理	土壌調査		20	
	④ 人間と植物・動物とのかかわり	EC, PH メータ		15	
	⑤ 人間生活と地球規模の課題	酸性雨調査		5	
後 期	① 農業と国土・環境保全	稲作栽培	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食と農業、環境と農業、生活に関する基礎的な知識を身に付け、農業の社会的な役割と環境・暮らしとの関係について理解する。 ・ プロジェクト学習のまとめ方、発表の方法について理解する。 ・ 学校農業クラブ活動の内容を理解させ、自ら参加しようという意欲と態度を身につけさせる。 ・ 水田や畑の役割や、耕地面積、農家戸数、産出額など具体的な数字から農業の現状を理解させる 	25	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出 出欠の有無
	② 農業・農村の役割	秋・冬野菜栽培		15	
	③ 学習のまとめと学校農業クラブ活動			20	
	⑤ 私たちの暮らしと食料・農業・農村			10	

合計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<p>① 前期・後期の指導内容を考査により知識・理解を評価。また、レポート、ノートも評価。 ② 実習・実験をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度(主体性・協調性)を評価。 ③ 調査や観察を主体的、継続的に取り組み、課題を思考・判断し、改善(表現)する事ができたかを評価。</p>

5 備考

<p>実習服・長靴を購入すること 選択受け入れ人数 上限 24 名を原則とする。</p>

教科(科目)	農業(総合実習)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年(農産・加工系列)
教科書	なし	副教材	特になし		
履修条件	「農業と環境」「食品製造」を履修していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得させる。また、農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習態度、服装の徹底し、安全に生産活動に参加する態度や技能を身に付ける。 ・ 協調性、主体性、継続性を心がけ、責任ある行動の定着。 ・ 農業の各分野に関する経営や管理の実際を理解し、実践的な能力と態度を身に付ける。
---	---

3 指導計画

学期	草花専攻	野菜専攻	加工専攻	時間	評価方法
前期	<p>夏季販売草花の栽培</p> <p>① 播種(6)</p> <p>② 鉢上げ(8)</p> <p>③ 切り花用畑地作り(10)</p> <p>④ 移植作業(8)</p> <p>⑤ 病害虫の調査観察(6)</p> <p>⑥ 管理作業(16) (除草、薬剤散布等)</p> <p>⑦ 販売実習(10)</p> <p>⑧ まとめ(6)</p>	<p>夏野菜の栽培</p> <p>① 水耕温室、ビニールハウス、露地畑を使用した春野菜栽培(20)</p> <p>② 野菜苗の育成と販売(20)</p> <p>③ 肥料・農薬・殺菌殺虫剤等の適正な使用と管理(15)</p> <p>④ 農機具の適正な使用と管理(15)</p>	<p>① ジャム(イチゴ、キウイ、マーマレード、イチジク)の製造(16)</p> <p>② ラッキョウ甘酢漬けの製造(14)</p> <p>③ タケノコの水煮の製造(10)</p> <p>④ さんまのぬか漬けの製造(8)</p> <p>⑤ 味噌漬け(大根、胡瓜)の製造(8)</p> <p>⑥ 食品製造学習(8)</p>	専攻ごとに記載(ただし、天候等に合わせ変動)	レポート、授業・実習態度、出欠の有無及び農業鑑定
後期	<p>冬季販売草花の栽培</p> <p>① 播種(6)</p> <p>② 鉢上げ(8)</p> <p>③ 病害虫の調査観察(6)</p> <p>④ 管理作業(16) (除草、薬剤散布等)</p> <p>⑤ 収量調査(8)</p> <p>⑥ 販売実習(10)</p> <p>⑦ まとめ(6)</p> <p>⑧ 経営診断(10)</p>	<p>秋冬野菜、春野菜の栽培</p> <p>① 水耕温室、ビニールハウス、露地畑を使用した春野菜栽培(15)</p> <p>② 野菜苗の育成・販売(15)</p> <p>③ 肥料・農薬・殺菌殺虫剤等の適正な使用と管理(14)</p> <p>④ 販売実習(10)</p> <p>⑤ まとめ(16)</p>	<p>① 菓子・パンの製造(24)</p> <p>② くん製の製造(12)</p> <p>③ 衛生実験(手指細菌実験・大腸菌検査)(10)</p> <p>④ 販売物の調製(6)</p> <p>⑤ まとめ(6)</p> <p>⑥ 経営診断(10)</p>	専攻ごとに記載(ただし、天候等に合わせ変動)	レポート、授業・実習態度、出欠の有無及び農業鑑定

合計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

・ 関心・意欲・態度 …	実験・実習について積極的に取り組もうとしている。
・ 思考・判断・表現 …	これまでの学習で得た知識から、作業内容を的確に理解し、手順や使用器具を選択できる。また、報告書(レポート)を分かりやすくまとめることができる。
・ 技能 ………………	作業内容を組立て、適切に実習に取り組むことができる。
・ 知識・理解 ……………	作業内容を理解し、その実験・実習に関する知識を身に付けている。

5 備考

<p>3部門にて学習。 実習服・クッキングコート・長靴必要 選択受け入れ人数を上限 24 名。</p>

教科(科目)	農業(作物)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年(農産・加工系列)
教科書	作物(実教出版)	副教材	特になし		
履修条件	「農業と環境」を2年次に履修すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

作物の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業(実習)に興味や関心を持たせる。 ・協調性、主体性、継続性を持ち責任ある行動を定着させる。 ・作物分野の現状を把握し、地域の在り方を考えさせる。 ・主食用穀物の生産意義・安全・安心な栽培基礎知識を理解させる。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	作物の種類と特徴 作物栽培の動向 イネ 稲作栽培	水田 管理作業用農機具 肥料・農薬	主要穀物の種類と特徴	10	定期考査 授業・実習 態度 ノート課題提出
			世界の作物生産と食料供給・需給動向	10	
			イネの生育のすがた 稲作栽培環境・管理作業が及ぼす生育収量の影響 稲作栽培・管理実習 病害虫の調査、観察 トラクター運転、操作、作業実習 実習・実験・調査・観察 稲の継続調査・観察	50	
後期	イネ 稲作栽培 生育の調査と診断 稲の収穫・品質調査 収量調査 とまとめ	水田 管理作業用農機具 肥料・農薬	稲作栽培管理 稲の継続調査・観察 トラクター・コンバイン運転、操作、作業実習	10	定期考査 授業・実習 態度 ノート課題提出
			水田の生育状況診断	10	
			収穫実習・米の出荷調整機械実習 実習・実験・調査・観察・まとめ	50	

計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

① 前期・後期の指導内容を定期考査により知識・理解を評価する。ノート提出にて評価する。 ② 実習をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度(主体性・協調性)を評価する。 ③ 調査、観察を主体的、継続的に取り組み、問題点を思考・判断し、改善(表現)する事ができたかを評価する。

5 備考

実習服・長靴必要、水田長靴必要(家にある場合はそれを使用してください)

教科 (科目)	農業 (野菜)	単位数	4 単位	学年 (系 列)	3 学年 (農産・加工系列)
教科書	実教出版 野菜	副教材	特になし		
履修条件	2 年次「農業と環境」を履修していること。3 年次「作物」と同時履修。				

1 学習目標

2 指導の重点

野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や栽培に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の特性や栽培方法、活用の仕方についての知識や技能を実践的に学ぶ。 野菜の栽培管理を通じて、協調性や主体性をもち、責任を持って行動する態度を身に付ける。 生育調査を継続して行い、課題の調査や調査の発表方法を学ぶ。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	① 野菜の種類と分類	野菜種子苗	<ul style="list-style-type: none"> 野菜生産の役割と需給動向 野菜の生育と生理 野菜栽培の基礎知識 野菜品質と栽培管理方法 病害虫の駆除と予防方法 春夏野菜の栽培管理 (実習・実験・調査・観察) 育苗技術の実際と応用 栽培作目 (例) <ul style="list-style-type: none"> トマト ナス キュウリ 	10	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	② 野菜の生育と環境	肥料・農薬・殺菌殺虫剤		50	
	③ 野菜栽培の実際	農機具		10	
	④ 果実を利用する野菜の栽培	露地畑、ハウス 教科書			
後 期	① 秋冬野菜の栽培	野菜種子苗	秋冬野菜の特徴と栽培に関する基礎 野菜品質と栽培管理方法 病害虫の駆除と予防方法 収穫方法と販売 秋冬野菜の栽培管理 (実習・実験・調査・観察) 栽培作目 (例) <ul style="list-style-type: none"> キャベツ ハクサイ ブロッコリー ダイコン ・野菜の流通と鮮度保持 ・野菜生産の経営改善と課題	10	試定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出 出欠の有無
	② 葉や茎を利用する野菜の栽培	肥料・農薬・殺菌殺虫剤等		50	
	③ 根を利用する野菜の栽培	農機具		10	
	④ 野菜の流通と経営改善	露地畑、ハウス 教科書			

合計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

① 学習内容を定期考査により評価。また、レポート、ノート提出も評価。 ② 実習・実験をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度 (主体性・協調性) を評価。 ③ 調査、観察を主体的、継続的に取組み、問題点を思考・判断し、改善 (表現) する事ができたかを評価。
--

5 備考

実習服・長靴が必要 選択受け入れ人数 上限 24 名を原則とする。 実習後はレポートを提出し、生育記録に関するレポート 2 本、野菜に関するレポート 1 本を提出する。
--

教科 (科目)	農業 (果 樹)	単位数	4 単位	学年 (系列)	2 学年 (農産・加工系列)
教科書	実教出版 果樹	副教材	特になし		
履修条件	「農業と環境」を同時に履修すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得し、果樹の特性や栽培に適した環境を理解するとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 果樹の特性や特性に合わせた基礎的な栽培技術の習得を目指す。 生育調査を通じて協調性、主体性、継続性をもち、責任を持って行動する態度を身に付ける。 果樹分野の現状を把握し、地域の特産として果樹の利用や地域の在り方を考える。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	① 果樹種類と栽培動向	果樹園 果樹栽培管理機具	主要果樹の種類と栽培状況の基礎学習 果樹の利用・需給動向の基礎学習	5	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	② 果樹の生育と栽培環境	肥料・農薬・殺菌殺虫剤	果樹の生育と生理の基礎学習 学校果樹園の果樹栽培技術の実習 (カキ・ナシ・リンゴ・クリ) 果樹の生育調査	10 20	
	③ 果樹の栽培管理		結果習性と花・果実の構造 結実管理・結果調節 (カキ、ナシ) 結果習性と整枝・せん定	5 30	
後 期	① 果樹の生育と収穫・調整	果樹園 果樹栽培管理機具	果樹の生育調査継続 カキの品質調査、出荷基準の学習	20	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	② 果樹の管理作業	肥料・農薬・殺菌殺虫剤	果樹の収穫作業、構造観察、糖度調査 果樹の剪定・誘引実習	30 10	
	③ 果樹の流通と経営改善	流通の仕組みと経営改善	生産者から消費者の届くまでの流通経路の理解し 流通改善する方策の学習	10	

140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

① 学習内容を定期考査により評価。また、レポート、ノート提出も評価。
② 実習・実験をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度 (主体性・協調性) を評価。
③ 調査、観察を主体的、継続的に取り組み、問題点を思考・判断し、改善 (表現) する事ができたかを評価。

5 備考

<p>実習服・長靴を購入すること 選択受け入れ人数 上限 24 名を原則とする。 実習後はレポートを提出し、生育記録についても別途レポートを作成し提出する。</p>
--

教科(科目)	農業(草花)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(農産・加工系列)
教科書	草花(実教出版)	副教材	特になし		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・草花生産の役割と動向について ・草花の特性と栽培技術について ・草花の栽培について ・繁殖と育種について ・草花生産の経営改善について
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	草花園芸の特徴 草花生産と消費の動向 生活と草花の利用 草花の生育と環境 草花の栽培	各種草花	草花の生産と経営、草花の生産形態	16	定期考査 関心意欲 スケッチ等 実習態度 ノート提出
			草花の種類(植物学的分類、園芸的分類)		
			草花生産の動向、消費の動向、流通のしくみ 流通の国際化 草花利用の意義 ヒューマンサービスと草花		
後期	草花の生育と栽培技術 品種改良と繁殖 鉢もの生産 花壇用草花生産 洋ラン 草花の栽培	各種草花	草花の一生(栄養成長・生殖成長と環境要因) 花芽(花序)分化と発達(日長処理、温度処理、成長調節物質)	20	定期考査 関心意欲 スケッチ等 実習態度 ノート提出
			草花の栽培 春の花壇用草花類(ペゴニア、ペチュニア等) 鉢花(シクラメン、ガーベラ等)	34	
			草花の生育と土・水・肥料 草花の栽培管理 草花の繁殖方法、種子繁殖、栄養繁殖 経営的特色 鉢物の生産資材と商品化技術、鉢花 花壇用草花生産の特色、花壇用草花の栽培 ラン科植物の特性 草花の栽培 秋の花壇用草花類(パンジー等) 鉢花(シクラメン、プリムラ等) 翌春の草花苗栽培	20 10 40	

計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

前期は定期考査により知識・理解を評価するだけでなく、授業態度やノートへの記入内容など、基本的な授業への取り組みについても評価する。 後期は内容が専門的になることから、この分野への強い関心や意欲・態度が必要です。前期の評価項目に加えて、技能の習得とともに、思考・判断・問題解決能力も必要です。実習時の協調性などについても評価します。
--

5 備考

意欲を持って授業に取り組む姿勢が必要です。

教科 (科目)	農 業 (グリーンライフ)	単位数	4 単位	学 年 (系 列)	3 学年 (農産・加工系列)
教科書	実教出版 グリーンライフ	副教材	特になし		
履修条件	実習服・長靴・帽子・クッキングコート必須。実習費 3,000 円徴収。実習施設の都合上、受け入れ人数 上限 24 名を原則とする。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>農林業・農山村の特色を生かした生活体験の提供に必要な知識や技術を習得し、地域資源の有用性を理解するとともに、地域に根ざした事業の振興に寄与できる能力と態度を育てる。</p>	<p>・農林業・農山村の特色や地域資源に興味・関心を持ち、現状と課題について探求する態度を身に付けさせる。 ・農山村活性化の方策について思考することを身に付けさせる。 ・農山村の景観や景観を生かしたツーリズムについて関心を持ち、景観を資源として捉え、その価値について理解させる。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	○ グリーンライフとは	教科書 本校農場 製造室	グリーンツーリズムや観光農園などを活用した交流余暇活動の特徴や方法について理解する。	10	定期考査 レポート 授業実習 態度 ノート提出
	○ 農山村と都市の現状と変化		「心の豊かさ」重視の国民意識の変遷とグリーンツーリズムについて学ぶ。	20	
	○ 農林業・農山村の魅力と地域づくり		農山村および都市の歴史や役割の変化について学習し、農業や農村の保全や多面的機能の活用について理解する。	24	
	○ 身近な地域資源の発見と活用		身近な地域を調査して、地域資源の発掘や資源の活用方法について学ぶ。	16	
後 期	○ グリーン・ツーリズムの取り組み	教科書 本校農場 製造室 近隣地域	グリーン・ツーリズムについて学び、ヒューマンサービスの在り方や方法を学ぶ。	10	定期考査 レポート 授業実習 態度 ノート提出
	○ 農林業・農村文化の体験		農山村での余暇活動と活性化の関係を結びつけて理解する。	18	
	○ 市民農園・観光農園		農林業や農村体験の現状を知り、実施の仕方を理解させるとともに、農林業や農村生活を体験し、実践的な態度を身に付ける。	14	
	○ 産地直送・産地直結		市民農園・観光農園の役割について理解する。 産地直送・産地直結と通信販売の運営について学ぶ。	16	
	○ 商品開発		商品開発の特徴について学習し、商品開発の実施や販売方法について理解する。	12	

合計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

① 定期考査により知識・理解を評価。また、レポート、ノート、実習態度も評価。
② 実習・実験をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度(主体性・協調性)を評価。
③ 調査、観察を主体的、継続的に取り組み、問題点を思考・判断し、改善(表現)する事ができたかを評価。

5 備考

特になし

教科 (科目)	農業 (食品製造)	単位数	4 単位	学 年 (系 列)	2 学年 (農産・加工系列)
教科書	食品製造 (実教出版)	副教材			
履修条件	「農業と環境」を同時に選択すること。3 年次「総合実習」「微生物利用」選択の要件となる。				

1 学習目標

2 指導の重点

食品製造に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と加工の原理を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。	① 安全な食品の製造を実践する。 ② 食品衛生について実験・実習を通して理解する。 ③ さまざまな食品加工技術を身につける。 ④ 作業に必要なコミュニケーション技術を身につける。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前 期	製造実習	小麦粉	・ 農産物の加工 グルテンの抽出、マドレーヌ、コッペパン、バターロール、あんパン、スポンジケーキ、うどんなど	40	定期考査 授業態度 製造技術 レポート
		農産物	らっきょう漬け、イチゴジャムなど	15	ノート提出
	「食品衛生の基礎」	教科書	・ 「食品を製造する前に」	5	
			・ 食中毒	10	
			・ 食品衛生	10	
・ 食品製造の意義、食品産業の現状と動向	5				
・ 食品の変質とその原因	5				
後 期	製造実習	小麦粉	・ 農産物の加工 製菓・製パン、メン類、チーズ、豆腐など	30	定期考査 授業態度 製造技術 実験レポート
	「食品製造の基礎」	教科書	「身近な食品の科学」	20	ノート提出

4 評価規準

合計 140 時間 (50 分授業)

・ 関心・意欲・態度 …	授業に対する取り組み方や製造実習に積極的に取り組もうとしている。
・ 思考・判断・表現 …	報告書 (レポート)・ワークシートの設問に対して的確に思考・判断ができる。 また、報告書 (レポート) を分かりやすくまとめることができる。
・ 技能 ………………	製造実習の加工方法を理解して、製造ができる。
・ 知識・理解 ………………	実験の報告書 (レポート) や小テスト、考査結果から、学習した内容が定着している。

5 備考

実習費 (3,000 円) と「食品製造用」指定実習服一式 (約 9,000 円) が必要です。実習服は、食品を衛生的に加工・製造するために大切なものです。2 年間 (3 年次「微生物利用」を選択した場合) 使います。選択人数は原則 24 名を上限とします。食品衛生上、全員が「検便」を受ける必要があります。衛生管理を徹底します。

教科 (科目)	農業 (微生物利用)	単位数	4 単位	学年	3 学年 (農産・加工系列)
教科書	微生物利用 (実教出版)	副教材	なし		
履修条件	2 年次に「食品製造」を履修していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

食品の製造や関連する微生物の利用に必要な知識と技術を習得させ、各種食品加工の応用能力と態度を育成することを目指す。育てる。	① 安全な食品の製造を理解させる。 ② 食品衛生について、実験・実習をとおして理解させる。 ③ 微生物の発酵作用について理解する。 ④ 製造作業に必要なコミュニケーション能力を養う。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	農産物の加工方法	農産物	・ らっきょう漬、マーマレード、いちごジャム、キウイジャム、タケノコ水煮の製造方法について学習する。	25	授業の取組状況、実習態度、ノートの提出状況、小テスト、中間・期末考査、報告書(レポート)の提出状況
	乳加工方法	牛乳	・ ヨーグルトなどの乳製品の製造方法について学習する。	10	
	人間生活と微生物	準教科書	・ 人間生活と微生物について学習する。	10	
	微生物の種類と特徴および代謝と酵素	準教科書	・ 微生物の種類と特徴について学び、微生物の代謝と生産する酵素について学習する。	15	
	微生物の実験	レポート	・ 微生物実験(基礎実験・分離培養・観察)について学習させる。	10	
後期	発酵食品の加工方法	米、大豆、大根	・ 味噌の製造方法について学習する。 ・ 麴について学習させる。みそ漬けの製造方法について学習する。	5 10	授業の取組状況、実習態度、ノートの提出状況、小テスト、中間・期末考査、報告書(レポート)の提出状況
	海産物の加工方法	海産物	・ サンマの糠漬方法について学習する。	10	
	農産物の加工方法	教科書	・ 製パンの製造方法について学習する。	10	
	細菌、カビ、酵母の分離培養、製麴・発酵の実験	レポート	・ 細菌、カビ、酵母の分離培養について学習する。 ・ カビ実験(クエン酸生産・酵素生産・キノ培養)、酵母実験(アルコール生産酵母の分離培養・同定)、細菌実験(納豆菌・乳酸菌・大腸菌)について学習する。	25	
		レポート			

合計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

・ 関心・意欲・態度 …	授業に対する取り組み方や製造実習・実験について積極的に取り組もうとしている。
・ 思考・判断・表現 …	報告書(レポート)・ワークシートの設問に対して的確に思考・判断ができる。また、報告書(レポート)を分かりやすくまとめることができる。
・ 技能 ………………	製造実習の加工方法・実験方法を理解して、製造・実験ができる。
・ 知識・理解 ………………	実験の報告書(レポート)や小テスト、考査結果において、学習した内容が定着している。

5 備考

選択受け入れ人数は上限を24名とする。 実習費2,000円と、2年次に使用した「食品製造用」指定実習服一式および教科書が必要。
--

教科 (科目)	農 業 (生物活用)	単位数	3 単位	学 年 (系 列)	3 学年 (農産・加工系列)
教科書	実教出版 生物活用	副教材	特になし		
履修条件	2 年次「農業と環境」を履修していること。実習時は作業着・帽子を着用、長靴をはくこと。実習費 2,000 円徴収。				

1 学習目標

2 指導の重点

園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得し、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解するとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物やその活用について興味・関心を持ち、生物を活用する活動の現状や今日的な課題の改善と生活の質の向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けさせる。 協調性、主体性、継続性を持ち責任ある行動を身に付けさせる。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材・施設等	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	○ 生物活用の意義と役割	教科書 本校農場 製造室	園芸作物や社会動物の活用が生活の質の向上につながることを理解し、園芸作物や社会動物の活用の重要性について学ぶ。	10	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	○植物・園芸と人間生活		植物のある環境や栽培、植物の活用と人間生活の関係について理解する。また、身近な植物が持つ特性や園芸がもたらす効用について理解する。 草花の種類や特性について学び、花壇や室内装飾等の園芸デザインについての基礎的な知識やその活用方法について理解する。	40	
	○動物の飼育と活用		人と動物が人間の生活においてどのように係わりとその効用を知る。 動物の飼育とその活用を理解する。	20	
後 期	○園芸作物の栽培と活用	教科書 本校農場 製造室	草花の栽培やその活用に関する実習を通して、これらの適切な栽培や活用方法について学ぶ。	35	定期考査 レポート 授業態度 実習態度 ノート提出
	○生物活用の実際		園芸作物や社会動物を活用した交流活動の流れやその対象者等について理解し、交流活動の準備と活動計画の立案や実際の活動について学ぶ。	35	

合計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<p>① 定期考査により知識・理解を評価。また、レポート、ノート提出も評価。</p> <p>②実習・実験をとおして技能だけでなく、関心・意欲・態度 (主体性・協調性) を評価。</p> <p>③調査、観察を主体的、継続的に取り組み、問題点を思考・判断し、改善 (表現) する事ができたかを評価。</p>

5 備考

特になし。

教科(科目)	工業 (工業技術基礎)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年 (環境工学系列)
教科書	工業技術基礎 (実教出版)	副教材	実習着上下・帽子・関数電卓		
履修条件	測量を同時選択すること				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>工業に関する基礎的技術を実験・実習で体験し、工業の各分野における技術への興味・関心を高める。</p> <p>工業の意義や役割を理解し、工業に関する広い視野と倫理観をもって工業の発展を図る意欲的な態度を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工業に関する各種の基礎的な技術を実験・実習によって体験し、工業の持つ社会的な意義や役割、人と技術のかかわりなどについて理解する。 実験・実習を通して、工業に関する広い視野と技術者として望ましい倫理観や勤労観・職業観をもち、工業の諸問題を適切に解決し、工業の発展を図る意欲的な態度を身につける。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	オリエンテーション	教科書	<ul style="list-style-type: none"> 実習を受ける心構え、報告書の書き方、電卓の使い方、図面の表し方を学ぶ。 	10	授業の取組 出欠席 実習態度 作品評価 報告書
		各種工具		10	
5	工具、測定器の使用法	関数電卓	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理の必要性と方法を理解する。 	10	
		電流計、電圧計			
6	手仕上げ (文鎮)	金工用工具	<ul style="list-style-type: none"> ノギスの使い方、各種工具の使い方、手仕上げの方法を学ぶ。 	24	
		真鍮棒			
7	住宅を考える	スチレンボード	<ul style="list-style-type: none"> 文鎮の製作を通して、各種工具の使い方や工作機械の操作方法を習得する。 	24	
9	(住宅模型)		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な製図練習 スチレンボードを利用した建築模型の製作 	24	
10	電気工事	電工用工具	<ul style="list-style-type: none"> ナイフ・ペンチ等の使用法を習得し、簡単な電気配線工事を行う知識を学習する。 	24	授業の取組 出欠席 実習態度 作品評価 報告書
11	木工	木工用工具	<ul style="list-style-type: none"> のこぎり・かんなど使用法を習得し、簡単な作品を製作する。 	24	
12	電子制御	モーターギヤボックス	<ul style="list-style-type: none"> 光センサの信号でモータを制御し、ライントレースできるまでを学習する。 	24	
1		ハンダゴテ			
2					
3					

4 評価規準

計140時間 (50分授業)

以下の観点から総合的に判断する。	
関心・意欲・態度	工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身につけている。授業の取組 (授業態度、発表の様子、出欠席状況、服装)
思考・判断・表現	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。課題作品評価、安全な作業を行う意識
技能	作品評価 工業の各分野に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境にも配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。
知識・理解	報告書の内容、検定試験結果 工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。
すべての単元で報告書を提出すること。	

5 備考

<p>工業の基幹科目です。安全に気をつけ、さまざまな知識・技能を身につけられるよう、しっかりと取り組んでいただきたい。</p> <p style="text-align: right;">受講可能人数 20名</p>
--

教科(科目)	工業 (実習)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年 (環境工学系列)
教科書	なし	副教材	実習プリント、実習着上下・帽子・関数電卓		
履修条件	2年次「工業技術基礎」を履修していること				

1 学習目標

2 指導の重点

工業の各専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 実際の作業をとおして工業のいろいろな専門分野に関する基本的な知識と技術を総合的に習得する。将来の産業社会に貢献し、技術革新に対応できるように能力と態度を身につける。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> 安全教育。 	6	授業の取組
5	原動機	原動機学習教材	<ul style="list-style-type: none"> 原動機の構造と動作原理の基礎を学習し、保守管理の方法を習得する。 	16	実習態度
6	電気実習	電気設備	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な電気工事(電線接続、管工事)の技能を習得する。 	16	作品評価
7	電子制御	組み込み用マイコン	<ul style="list-style-type: none"> Arduinoを活用したプログラミングと制御技術について学習する。 	16	報告書
9	木工	木工設備	<ul style="list-style-type: none"> 工具の基本的な使用法、管理法からジグを用いた能率的な工作の方法までを学習する。 	16	報告書 作品評価
10	溶接	溶接機	<ul style="list-style-type: none"> 溶接技術の基礎を学習し、ベンチ製作を行う。 	16	授業の取組
11	総合実習		<ul style="list-style-type: none"> 学習した知識、技術を活用した作品を設計・製作する 	16	実習態度 作品評価
12	電気実習 B	シーケンス制御実習装置	<ul style="list-style-type: none"> リレーシーケンス制御、PLC制御の基礎を学習する。 	16	報告書
1	学習発表	パーソナルコンピュータ、プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 実習をとおして学習した成果のまとめおよび発表を行う。 	22	発表意欲 発表内容
2					

4 評価規準

計140時間 (50分授業)

以下の観点から総合的に判断する。	
関心・意欲・態度	授業への取り組みが意欲的である。(授業態度、発表の様子、出欠席状況、服装)
思考・判断・表現	製作する作品を構想し、作成することができる。実習行動で安全への配慮ができる。他者と協力して作品製作ができる。授業を通じて得た結果を的確に表現できる。提出物の期限の順守をしている。
技能	実習の様子、作品評価
知識・理解	実習の目的や結果からの的確に考察できる。(報告書の内容)
すべての単元で、報告書を作成、提出すること。	

5 備考

<p>受講可能人数 20名</p> <p>2学年次で習得した基本的な知識・技能を発展させたものづくりができるように、安全に気をつけ、真剣に取り組んでください。</p>

教科(科目)	工業(製図)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(環境工学系列)
教科書	製図(実教出版)	副教材			
履修条件	実習を同時選択				

1 学習目標

2 指導の重点

工業製図に関する知識と技術を習得し、図面を正しく読み、図面の構想・作成能力と態度を身につける。	製図および工業の製図について知識と技術を習得し、製作図や設計図を正しく読み取るとともに、製作する部品や製品の図面を構想し、作成する能力と態度を身につける。
---	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1章機械と製図	製図用具	製図に関する日本産業規格における総則、用語などの基本的な規格について学習し、製図に関する規格について理解する。	8	授業の取組 授業態度 課題提出 基礎製図検 定
5	製図を学ぶにあたって	基礎製図検 定 問題集	製図に用いる用具用紙の使い方	4	
6	製図用具 線・文字 平面図形		線の種類と使い方・文字記号の書き方	12	
6	投影法		定規とコンパスを用いた作図	6	
7	展開図	定規	品物の形状を平面上に表す	6	
7	投影図	ケ ン ト 紙	角柱・円柱・角錐台の側面展開図の書き方	6	
7	断面図		投影図の選び方	6	
9	寸法		品物内部の表し方	6	
9	図面		基本的な寸法記入の方法	6	
9			図面を書く手順 基礎製図検定受検全員受検	10	
10	第2章製図の応用	製図用具	品物の内部の形状を正確に表すための断面図のかき方を理解させる。	12	授業の取組 授業態度 報告書 課題提出
11	平面曲線 図形 寸法	基礎製図検 定 問題集	曲線の寸法記入、連続する穴の寸法記入およびテーパ・勾配の記入の仕方を理解させる	12	
12	表面粗さ・誤差 幾何公差	ケ ン ト 紙	機械部品の微細な幾何学的特性を表す表面性状の図示方法について理解させる。	12	
1	第3章機械要素の製図		JISにおける製図規格に基づいた設計製図を理解し、活用できるようにする。	12	
1	ねじ・ボルトナット	CAD シ ス テ ム	ねじの名称と種類、ねじの図示法、JISに基づくねじの表し方について理解させる	10	
2	第4章各種の製図 第5章CAD製図		CADを用いて基本的な製図ができるよう知識・技能を習得する	24	

計140時間 (50分授業)

4 評価規準

以下の観点から総合的に判断します。	
関心・意欲・態度	製図に関心を持ち、正しい図面を作成しようとしている。 授業の取組(授業態度、出欠席状況、服装)等
思考・判断・表現 技能	部品や製品の図面を構想し、作成することができる。課題提出物、検定試験等規格に沿って、製作する部品や製品の図面を構想し、作成することができる。 CADによる製図ができる。作業の様子、課題提出物等から、製図に関する事象について理解し、読図・作図の技能を身につけている。
知識・理解	製作図、設計図などを正しく読むことができる。作成した図面の内容、状況等

5 備考

受講可能人数20名	製図はいわば工業界での世界共通言語です。ものづくりの基礎・基本となる知識を習得しましょう。
-----------	---

教科(科目)	工業(工業数理基礎)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(環境工学系列)
教科書	工業数理基礎(実教出版)	副教材	関数電卓		
履修条件	実習を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

工業の各分野における事象の数値処理に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 工業の各分野における具体的な事象を題材として、数学、物理および化学の理論を道具として活用し、実地的な数値処理に関する知識と技術について学習する。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7 9	第1章基礎的な数理 面積・体積 身近な工業事象 中間考査	教科書 ノート 関数電卓	工業の事象の計算、面積・体積・質量の積算および単位換算について学習する。	16	授業の取組 実験態度 課題テスト 定期考査
	高さと三角比		工業事象と数式に関する知識・技術を習得する。	16	
	第2章単位と数値処理		力とエネルギー、力と釣合いおよび流れの基礎などについて学習し、基礎的な数値処理に関する知識と技術を習得する。	1 16 20	
	第3章乗り物の数理		立木の高さを間接的に求める方法を考える。		
	期末考査		三角比と三角関数の基本を理解する。	1	
	10 11 12 1 2		第4章環境の数理 第5章数値処理とグラフ 第6章流れの数理 第7章構造物と部材の設計 中間考査 第8章時間とともに変化する事象 第9章コンピュータによる数値処理 学年末考査	教科書 ノート 関数電卓 コンピュータ	

計140時間 (50分授業)

4 評価規準

以下の観点から総合的に判断します。	
関心・意欲・態度	工業事象の数値処理に関心を持ち、授業に取り組んでいる(授業態度, 出欠席状況, 服装)等。
思考・判断・表現	数学、物理、化学の理論を工業の基礎的事象の数値処理をする道具として活用できている。課題提出物, 定期試験等。
技能	基礎的な数値処理ができる。課題取組の様子, 課題提出物等。
知識・理解	基礎的、基本的な知識を身につけている。定期考査状況等。

5 備考

<p>数学を、便利な道具として活用することができるまで、しっかりと学習に取り組んでいただきたい。</p> <p>受講可能人数 20名</p>
--

教科(科目)	工業(情報技術基礎)	単位数	4	学年(系列)	2学年(環境工学系列)
教科書	情報技術基礎新訂版(実教出版)	副教材	関数電卓		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解するとともに、情報技術に関する知識と技術を習得し、工業の各分野において情報および情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。</p>	<p>社会における情報化の進展および情報の意義や役割について、コンピュータの歴史と特徴、コンピュータの利用形態、情報化の進展と産業社会、情報化の進展が産業社会や日常生活に及ぼす影響などについて学習し、情報技術に関する知識と技術を習得する。</p>
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	電卓計算 1章産業社会と情報技術	関数電卓 教科書	・関数電卓の活用 ・情報化の進展と産業社会、情報モラルおよび情報のセキュリティ管理について学習する。	12 4	授業の取組 報告書 作業態度
5	2章コンピュータの基本 操作とソフトウェア 中間考査	ノート	・コンピュータのハードウェアとソフトウェア、オペレーティングシステムの基礎、アプリケーションソフトウェアについて学習する。	20	作品評価 課題提出物
6	6章ハードウェア	問題集	・数の表現と演算、論理回路およびコンピュータの動作原理について学習する。	16	検定試験
7	7章コンピュータネットワーク		・通信プロトコルやネットワークの形式について学習する。	16	
9	期末考査			1	定期試験
10	3章プログラミングの基礎	教科書 ノート	・流れ図、データの演算と入出力および基本的なプログラミングについて学習する。	16	授業の取組
11	4章BASICによるプログラミング	関数電卓 問題集	・流れ図をもとにプログラミング言語によるプログラム作成を行う。	20	報告書 作業態度
12	中間考査			1	作品評価
	8章コンピュータ制御	パソコン	・流れ図をもとにプログラム作成を行い、簡単な入出力制御を行う。	16	課題提出物
1	9章情報技術の活用		・情報の収集と活用およびマルチメディアの活用について学習する。	16	検定結果
2	学年末考査			16	定期試験
3				1	

4 評価規準

計140時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。授業の取組(授業態度、出欠席状況、服装) ・思考・判断・表現…… 諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。課題評価、適正なコンピュータの操作 ・技能…… 情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技能を身につけている。作業の様子、作品評価 ・知識・理解…… 情報技術に関する基礎的な知識を持ち、社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解している。報告書の内容、定期考査 などから、総合的に判断する。

5 備考

<p>受講可能人数 20名</p>

教科(科目)	工業(材料技術基礎)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(環境工学系列)
教科書	材料技術基礎(実教出版)	副教材	関数電卓	実習服上下	帽子
履修条件	実習を同時選択				

1 学習目標

2 指導の重点

工業の各分野に用いられる材料の製造、組織、性質及び用途に関する基礎的な知識と技術を習得する。	身の回りにある製品の材料について、関心・理解を深める。工業材料の製造法や特性を理解し、適切な材料の選定や有効に利用する方法を考察する。
--	---

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	1章 工業材料と社会生活	教科書 ノート 関数電卓	・工業材料が社会生活や産業に果たす役割 身の回りの道具や製品、機械がさまざまな材料で作られていることへの理解	10	授業の取組 報告書 実習結果 定期試験 課題提出物 製作物 など	
5	2章 工業材料の構造と性質		・工業材料の化学結合の原理・結晶構造について ・工業材料の変形と流動、結晶構造と機械的、物理的、化学的性質について理解	15		
6	中間考査 3章金属材料		・金属材料の種類と性質、加工方法を理解 ・身のまわりの製品や構造物を取り上げ、一般的な金属の性質や特徴を学習し理解させる。	1 14		
7	4章セラミックス材料	低溶融合金	・鋳造技術の基本を習得する。 セラミックスの性質や特徴を理解させる。	15		
9	期末考査			1		
10	5章高分子材料 小テスト	教科書 ノート 関数電卓	高分子の構造と性質を学習し、高分子材料の種類や用途を理解させる。	18		授業の取組 報告書 定期試験 課題提出物 製作物 など
11	6章複合材料・機能性材料・新素材・生体用材料	木工用木材	複合材料の定義を学び、その特徴を活かし、どのような製品が作られているか理解させる。	17		
12	中間考査	ピアノ線	材料の様々な性質を正確に評価し、活用するために各種材料の代表的な検査・測定の方法について学ぶ。	1		
1	7章工業材料の検査		材料の原料となる天然資源について考え、リサイクルの必要性を理解し、その具体的な方法やリサイクルシステムについて学習し理解させる。	16		
2	8章工業材料と環境			17		
	学年末考査			1		

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度……授業への取り組み(授業態度、出席状況、発問への対応、服装、学習活動の参加状況など) ・ 思考・判断・表現……学習活動や課題において主体的に考え、正しい判断で目的に応じた発言や記述ができる。提出物の期限の順守。 ・ 技能……実習作品評価。作業中の安全確認の実施。 ・ 知識・理解……学習活動を通じ工業材料に関する基礎的な知識を身につけている定期テスト。報告書の内容 などから総合的に判断する。
--

5 備考

<p>私たちの身の回りにある工業製品の材料について、その特性や性質を理解する態度を身につけよう。また、作品作りをとおして、ものづくりに対する興味をもってもらいたい。 受講可能人数 20 名</p>
--

教科(科目)	工業 (生産システム技術)	単位数	4 単位	学年(系列)	2 学年 (環境工学系列)
教科書	生産システム技術 (実教出版)	副教材	生産システム技術演習ノート (実教出版) 関数電卓 実習服上下 帽子		
履修条件	工業技術基礎を同時に選択すること				

1 学習目標

2 指導の重点

工業の生産システムに関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 生産システム技術と社会に関する知識を習得する。 電気技術に関する知識と技術を習得する。 電子技術に関する知識と技術を習得する。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	第1章直流回路	教科書 演習ノート 関数電卓	電圧、電流、抵抗の関係などの直流回路の基本的事項と、電力、電力量、発生熱量、温度上昇などの電気エネルギーの量的関係について学習する。	30	授業の取組 定期考査 実験態度 報告書 課題提出
5	第2章磁気と静電気	電流計 電圧計	磁気について正しく理解させる。電流による磁界の発生、磁界中の電流にはたらく力の大きさと向きについて理解させる。	9	
6	中間考査	テスタ 電源装置	コンデンサの構造と機能について理解させる。	1	
7	第3章交流回路	電動機 実験装置等	瞬時値、最大値、実効値、周波数、周期などの交流波形の諸量について学習する。	29	
9	期末考査			1	
10	交流回路	教科書 演習ノート 関数電卓	抵抗、インダクタンス、キャパシタンスの働きおよび電圧と電流の量的関係、位相関係、三相交流における基本的な回路構成と電圧、電流、電力の量的関係について学習する。	20	
11	第4章電子回路	ブレッドボード	各種デバイスの原理と使い方を学習し、ブレッドボード上で簡単な回路が組めるまで、技術習得する。	19	
12	中間考査	IC 等デバイス		1	
1	第5章計測技術と制御技術	テスタ 電源装置	各種計測器の原理と取り扱いを学習し、実際にテスタ・オシロスコープを用いて諸量の測定ができるよう学習する。	10	
1	第6章生産設備	電動機 実験装置	生産システムに必要な基本的な電気設備、自家用電力設備、屋内配線、通信設備などを学習する。	10	
2	第7章生産管理	等	生産の仕組みと生産管理の手法を理解する。	10	
	学年末考査			1	

4 評価規準

計140時間 (50分授業)

以下の観点から総合的に判断する。	
関心・意欲・態度	生産システムに関心を持ち、電気技術や電子技術について主体的に探求しようとしている。授業にしっかりと取り組んでいる (授業態度, 出欠席状況, 服装)。
思考・判断・表現	生産システムに関する諸課題の解決を目指して思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている。課題提出物, 定期試験等
技能	基礎的、基本的な技術を身につけている。実験の様子, 課題提出物等
知識・理解	基礎的、基本的な知識を身につけている。報告書の内容, 定期考査状況等

5 備考

受講可能人数20名	電気は動力、制御、情報伝達的手段として使われています。電気を安全に、効率よく使える知識、技術を身につけられるように学んでください。
-----------	---

教科(科目)	工業(測量)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(環境工学系列)
教科書	測量(実教出版)	副教材	実習服上下・帽子・関数電卓・測量士補試験問題集		
履修条件	工業技術基礎を同時選択すること				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>各種測量法の基礎的な知識と技術を習得します。測量技術者の社会的な役割・倫理観の育成を目指し、測量の実務に活用する能力と態度を養う。</p>	<p>① 基本的な測量機器についてその構造及び使用方法を理解し、各種測量法の基礎的な知識と技術を実際に活用できる能力を身につけることを目指す。</p> <p>② 観測データの計算処理方法や面積、土積(体積)の求め方について理解し、活用できることを目指す。</p>
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	・「測量」を学ぶにあたって	・教科書	・測量技術の社会基盤との関わりについて理解する。測量の種類、職業資格について理解する。	3	授業の取組 報告書
5	・距離測量用器具	・実習結果(データ)	・巻尺の種類、扱い方法、野帳の記入方法、距離測量の方法を習得する。距離の補正方法。	8	実習態度・意欲 実習結果 提出物 定期試験結果 など
6	・測距器械による距離の測定	・問題集	・測角構造の理解、取扱い、正確な角度の測量方法を理解する。誤差の処理方法。	6	
7	・角測量と測角機器	シート	・トラバース測量の外業と内業に関する基礎的な知識と技術を習得し、測量の精度について考察します。	4	
9	・測角器械の構造	など		3	
	・すえつけと視準			6	
	・検査と調整			2	
	・角度の観測			8	
	・各測量機器器械誤差			3	
	・トラバース測量の概要			1	
	・トラバース測量外業			18	
10	・トラバース測量の内業	・教科書	・トラバース測量の外業と内業に関する基礎的な知識と技術を習得し、測量の精度について考察します。	10	授業の取組 報告書 実習態度・意欲 実習結果 提出物 定期試験結果 など
	・平板測量の器具	・関数電卓		2	
11	・平板を用いた細部測量	・実習結果(データ)	・細部測量における地形・地物の作図方法を理解する。	10	
12	・トータルステーションを用いた細部測量	・問題集		1	
1	・水準測量の用語	シート	・水準測量の方法及び野帳の記入方法を理解する。	2	
2	・水準測量器械・器具	など		2	
	・水準測量実習			8	
	・レベルの検査・調整			1	
	・水準測量の方法		・測量で生じる誤差の原因や対処の方法を理解する。	4	
	・誤差の種類			2	
	・測定値の計算処理		・境界で囲まれた土地の面積や土量に関して数学的な原理を理解しデータを用いて計算する方法を身につける。・誤差の生まれる原因を理解し、最確値や標準偏差の求め方を理解する。	4	
	・面積の計算			4	
	・土量の計算			4	
	・基準点と基準点測量		・基準点測量の概要について理解する。	1	
	・測量計画		・測量計画の概要について理解する。	1	
	・角の偏心計算		・偏心観測を行う必要性や偏心計算の意味を理解する。	4	
	・国土地理院成果表		・地球の形状を理解し、準地球円体上での位置の表し方を学ぶ	1	
	・地研図		・国土地理院発行の地図とその種類について学ぶ	1	
	・等高線		・等高線の性質と地形図の読み方を理解する	1	

・数値地形測量	・GISの測量結果が広い分野で利用されていることを理解する。	1
・単心曲線の設置	・単心曲線の用語・記号・図を理解する	2
・流量測定	・平均流速を用いて、流量計算する方法を学ぶ	2
・写真測量	・写真測量の概要や長所・短所を学ぶ	2

4 評価規準

計140時間（50分授業）

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度……測量に関する事項や産業に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる（授業態度、出席状況、発問への対応、服装、学習活動の参加状況など）。 ・思考・判断・表現……学習活動や課題において主体的に考え、正しい判断により目的に応じた発言や記述をしている。 課題において、目的に応じた結果を正確に導き出している。 実習行動で安全への配慮、班別活動の様子。 授業を通じて得た結果を的確に表現し他者に伝えようとしている。 提出物の期限の順守をしている。 ・技能……測量機器の取り扱いに関する基礎的な知識・技能を身につけている。 技能によって適切な実習結果を導き出せる。 提出物の内容が適切である。 ・知識・理解……定期テスト。報告書の内容。 数学的な原理を理解し、各種測量作業において活用することができる。 <p style="text-align: right;">などから、総合的に判断します。</p>
--

5 備考

<p>数学Iの三角比（正弦定理、余弦定理）などの数学的な知識が必要となります。</p> <p>社会人として、産業現場で働く意義を理解し、それに向けて取り組む真面目な姿勢を身につける努力をしましょう。</p> <p>受講可能人数 20名</p>

4 評価規準

- ・関心・意欲・態度…… 社会基盤としての土木事業の役割・特徴について関心、興味を示して自ら学ぶ姿勢が見られ 意欲的に授業に取り組んでいる（授業態度、出席状況、発問への対応、服装、学習活動の参加状況など）。
- ・思考・判断・表現…… 学習活動や課題で主体的に考え、正しい判断により目的に応じた発言や記述ができる。
小テストやレポートなどで判断する。
プレゼンテーションで、内容を的確に表現し他者に伝えられる
(まとめる能力や表現力を評価する)。
提出物の期限の順守。
- ・技能…… 学習の中の諸問題について、正しい方法により目的とする結果を求められる。
(実習結果、提出物の内容)
- ・知識・理解…… 報告書の内容や結果から的確に考察できる。
定期テストの内容から基礎的知識を理解している。 などから総合的に判断します。

5 備考

学習活動を通じて産業現場で働く意義を理解し、それに向けて取り組む真摯な姿勢を身につける努力をしましょう。
受講可能人数20名

教科(科目)	商業（ビジネス基礎）	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(ビジネス・情報系列)
教科書	ビジネス基礎 新訂版 (東京法令出版)	副教材			
履修条件	「簿記」を同時履修すること				

1 学習目標

2 指導の重点

ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。	・経済のしくみの中におけるビジネスの諸活動の意義や役割について基礎的な知識と技術の習得を目指す。 ・経済社会の一員として必要とされる社会性など豊かな人間性を身に付ける ・ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1章 商業の学習ガイダンス	教科書 プリント	第1節 商業を学ぶ目的と学び方	5	出席状況 定期考査 小テスト 提出物 授業態度
			第2節 商業の学習分野と職業	10	
	第2章 ビジネスとコミュニケーション		第1節 ビジネスに対する心構え	5	
			第2節 良好な人間関係とコミュニケーション	5	
			第3節 ビジネス情報の入手のしかた	5	
			第4節 ビジネス情報を活用する方法	5	
	第3章 経済と流通の基礎		第1節 経済の基礎	7	
			第2節 ビジネスの発展	7	
			第3節 流通の意義と役割	7	
			第4節 売買業者のビジネス	7	
第5節 流通活動とマーケティング		7			
後期	第4章 企業活動の基礎	第1節 企業の形態と経営組織	7	出席状況 定期考査 小テスト 提出物 授業態度	
		第2節 資金調達	7		
		第3節 ビジネスの担当者	7		
		第4節 企業活動と税	7		
		第5節 雇用	7		
	第5章 ビジネスと売買取引	第1節 売買取引の方法	5		
		第2節 代金決済の方法	5		
		第3節 電子商取引と代金決済	5		
		第4節 ビジネス計算の基礎	20		

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…経済や流通の仕組みに関心を持ち、実生活にあてはめて考察する態度が見られるか。 ・思考・判断・表現…企業の形態が環境の変化に対応して変化してきていることに気づくことができるか。 ・技能……………売買に必要な計算や換算方法を習得し、電卓を用いて、正確かつ明瞭な計算を行うことができるか。 ・知識・理解……………定期考査や課題プリントにおいて、流通の意義や役割、仕組み、売買契約の意義について理解できているかを評価する。
--

5 備考

--

教科(科目)	商業 (ビジネス実務)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(ビジネス・情報系列)
教科書	ビジネス実務 新訂版 (東京法令出版)	副教材	全商ビジネス文書検定問題集1級		
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

<p>社会を構成している一員として自覚を持たせ、一般的マナーやビジネスマナーに関する基本的な態度、知識、礼儀、技能を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なビジネスマナーを身に付ける。 ・税の意義や種類を理解し、税額の計算方法を身につける。 ・情報機器を利用して、ビジネス文書を正確・明瞭・迅速に作成できるようにする。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1章 オフィス実務	教科書 副教材	第1節 企業の組織と仕事 企業の形態や社会的役割、株式会社の仕組みについて理解させる。	12	定期考査 課題提出 授業態度
			第2節 職業人としての心構え 働く目的や雇用のミスマッチ、企業が求める人材とは何かを考えさせる。	8	
			第3節 コミュニケーションとビジネスマナー 基本的なビジネスマナー (挨拶、来客・電話対応) を身につけさせる。	25	
			第4節 情報化とオフィス実務 文書作成の基本を理解し、表やグラフを効果的に活用して、文書を正確かつ迅速に作成できるようにする。	25	
後期	第1章 オフィス実務 第2章 ビジネス英語	教科書 副教材	第5節 税の申告と納付 税の意義や概要を理解し、法人税額の計算の流れ、税務調整、消費税の申告と納付の流れを理解させる。	20	定期考査 課題提出 授業態度
			第1節 国際化とコミュニケーション 英語によるビジネス交渉を前提とした挨拶、マナーを身につけさせる。	15	
			第2節 ビジネスの会話 英語による来客対応、電話の受け方・かけ方、プレゼンテーションの方法を理解させる。	15	
			第3節 ビジネスの文書 英語による手紙の書き方や商取引における文書の意味を理解させる。	20	

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度…授業に取り組む姿勢やロールプレイングなどへ積極的に参加しているか。 ・ 思考・判断・表現…場面に応じた適切なマナー、コミュニケーションを判断して実践できるか。 ・ 技能……………ビジネスマナーで身に付けた言葉遣いをしっかりと使うことができるか。 文書を正確かつ迅速に作成できるか。 ・ 知識・理解……………定期考査やロールプレイングで、ビジネスにおけるコミュニケーションの意義や効果的な表現方法について理解しているかを評価する。
--

5 備考

--

教科(科目)	商業（マーケティング）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	マーケティング 新訂版 (実教出版)	副教材			
履修条件	2年次「ビジネス基礎」を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

マーケティングに関する知識と技術を習得させ、マーケティングの意義や役割について理解させるとともに、マーケティング活動を計画的・合理的に行う能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 激しく変化する現代市場においてマーケティングが果たす役割とその意義を理解させる。 ・ マーケティングに関する体系的な知識と技術を習得させる。 ・ マーケティング活動を計画的、合理的に行う能力と態度を育てる。 ・ マーケティングに関連する職業への認識を深めさせ、進路選択の幅を広げる。諸表の意味を理解させ、そこから経営分析をする
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	現代市場とマーケティング	教科書 問題集 プリント	現代市場におけるマーケティングの意義や役割及びマーケティングの一連の流れについて理解させる。	15	授業態度 出席状況 レポート 課題提出 定期考査 販売実習
	市場調査		情報を収集・分析して報告書を作成し、またプレゼンテーションを行うための基礎的な知識と技術を習得させる。	25	
	消費者の購買行動		消費者の購買行動に関する基礎的な知識を習得させる。	25	
後期	商品計画	教科書 問題集 プリント	適切な商品計画を立案し実施するための基礎的な知識と技術を習得させる。	25	授業態度 出席状況 レポート 課題提出 定期考査 販売実習
	価格の決定		市場の動向に応じた価格の決定に関する基礎的な知識を習得させる。	15	
	販売経路と販売促進		適切な販売経路を設定し、効果的な販売促進を行う能力と態度を育てる。	35	

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度…マーケティングについて関心をもち、マーケティング活動を計画的、合理的に行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、マーケティング活動を行う実践的な態度を身につけている。 ・ 思考・判断・表現…適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。 ・ 技能…マーケティング活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 ・ 知識・理解…基礎的・基本的な知識を身につけ、マーケティングの意義や役割について理解している。
--

5 備考

--

教科(科目)	商業（広告と販売促進）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	広告と販売促進（実教出版）	副教材			
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

<p>広告や販売促進などに関する知識と技術を習得させ、企業と消費者間のコミュニケーション活動の意義や役割について理解させるとともに、販売に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代市場において広告と販売促進が果たす役割と意義を理解させる。 ・広告や販売促進に関する知識と技術を体験的に習得させる。 ・マーケティングにおける企業と消費者間のコミュニケーション活動の果たす意義や役割を理解させる。 ・広告や販売促進など販売に関連する活動を主体的、創造的に行う能力と態度を育てる。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
前期	販売促進	教科書 問題集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・販売促進の概要について理解させる。 1 販売促進の内容 2 消費行動の理解 3 販売促進の戦略と具体的活動 	5 10 12	授業態度 出席状況 課題提出 定期考査 販売実習	
	広告と広報活動		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な広告と広報活動を行うための基礎的な知識と技術を習得させる。 1 広告の概要 2 広告計画の手順と内容 3 広報の概要 4 広報の具体的活動 5 効果的な広報 	8 7 10 10 8		
後期	店舗の立地と設計	教科書 問題集 プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な店舗の立地と設計を行うための基礎的な知識と技術を習得させる。 1 店舗の立地 2 店舗の設計 3 店舗の棚割と陳列 	7 7 12		授業態度 出席状況 課題提出 定期考査 販売実習
	販売活動		<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な販売活動を行う能力と態度を育てる。 1 販売員活動の概要 2 販売員活動の方法 	8 12		
	販売促進の発展と顧客満足の実現		<ul style="list-style-type: none"> ・適切に販売促進や販売後の消費者対応を行うための基礎的な知識を習得させる。 1 新しい販売促進 2 販売促進の規制 3 販売員促進の課題 	7 5 12		

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…広告や販売促進などに関する知識と技術について関心をもち、それらを習得するために意欲的に取り組んでいる。 ・思考・判断・表現…広告や販売促進など販売に関する活動における諸問題を解決するために、思考できる。 ・技能……………広告の作成、店舗設計、商品陳列、接客などに関する知識と技能を身につけている。 ・知識・理解……………現代社会における広告や販売促進の役割を正しく理解している。
--

5 備考

「マーケティング」と合わせての履修が望ましい。

教科(科目)	商業（経済活動と法）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	経済活動と法（実教出版）	副教材	商業法規便覧（とうほう）		
履修条件	2年次「ビジネス基礎」を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>経済事象を法的に考え、主体的・合理的に判断する能力と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律に関して立法の趣旨や歴史的背景を感得させ存在理由を理解させる。 ・社会、経済に関して興味関心を育て、法的な考え方を育み、生きて活用できる法的な思考習慣の習得を目指す。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	経済社会と法	・経済社会と法	・法の本質を明らかにし、法の分類、効力、適用と解釈など、法を学ぶための基本的な事柄を理解する。	4	中間 期末 小テスト 提出物 授業態度
	権利・義務と財産権	・権利・義務とその主体 ・物と財産権	・権利、義務の意義と関係、それらの主体について理解する。 ・財産について認められる権利としての位置づけと経済的な利益との関わりについて理解する。	6 8	
	財産権と契約	・財産権と契約	・契約自由の原則と信義誠実の原則との関係について。	12	
		・物の売買 ・物の貸借 ・契約によらない財産権の変動 ・財産権の保護	・所有権の移転、第三者への抗弁などについて。 ・消費貸借や賃貸借など、社会事象との関わりで理解する ・時効制度やその他「特別な場合」について考える。 ・第三者への効力、保証、担保など具体例の中で理解する。	10 8 4 18	
後期	社会生活に関する法	・消費者と法 ・労働と法 ・家族と法	・われわれの社会生活を守る法律について理解を深める。 ・自分自身の問題として、民法、労働3法を考える。 ・自分自身の問題として、親族、婚姻を中心に考える。	8 5 12	中間 学年末 提出物 授業態度 実習態度
	紛争の予防と解決	・紛争の予防 ・紛争の解決 ・強制執行	・紛争予防として、特に公証人制度を中心に理解する。 ・和解、調停、仲裁、訴訟について理解する。 ・確定判決の国家権力による実現としての強制執行があることを理解する。	3 6 3	
		実習	・模擬裁判	・原告、被告、裁判員を模擬体験することで、法律について主体的に考える態度を身に付ける。	

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準

<p>関心・意欲・態度・・・法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに関心を持ち、意欲的に学習しようとするか。 思考・判断・表現・・・ある事象の解釈について論理的に思考し、どう判断しとらえることができるか。 技能・・・日常生活または新聞記事などの事象を「法」を通して具体的にとらえることができるか。 知識・理解・・・経済活動や市民生活のあるところ法あり、と実感し理解することが知識の裏づけをもってなしうか。</p>
--

5 備考

--

教科(科目)	商業（簿記）	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(ビジネス・情報系列)
教科書	新簿記 新訂版（実教出版）	副教材	最新段階式簿記検定問題集2級・3級		
履修条件	「ビジネス基礎」を同時履修すること				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>経営活動にともなう取引を正確、明瞭に計算・記録・整理するための知識と技術を習得させ、合理的な会計処理を行なう態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の基礎的な技術を習得させる。特に適切な勘定科目を用いた記帳能力の習得を目指す。 ・一連の記帳手続きを習得させ、報告書類の作成力の習得を目指す。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	簿記の基礎	簿記の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記の意味・役割を理解させる。 ・仕訳から決算までの一連の流れを理解し、その記帳を習得させる。 	25	定期考査 小テスト 提出物 授業態度
		各種取引の記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記上の取引について、仕訳とその記帳方法を理解させる。 ・補助簿の役割と、記帳方法について理解させる。 	37	
		帳簿と伝票	<ul style="list-style-type: none"> ・3伝票制と5伝票制にについて、その意味と役割を理解させる。 	8	
後期	簿記の応用	決算	<ul style="list-style-type: none"> ・決算整理を含む決算手続き全体の流れを、帳簿記入を通して学習し、8桁精算表、損益計算書、貸借対照表を作成する。 	20	定期考査 小テスト 提出物 授業態度
		進んだ決算整理	<ul style="list-style-type: none"> ・費用収益の繰延べ見越し、貸倒引当金の設定、減価償却の間接法、有価証券の評価替えについて理解させる。 	30	
		記帳練習	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の流れを通して学習のまとめを行う。 	20	

計 140 時間（50分授業）

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…簿記に関心を持ち、正確かつ明瞭な計算・記録をしようとする態度が見られるか。 ・思考・判断・表現…取引を適切に判断して、仕訳を行い、記帳することができるか。 ・技能……………損益計算書や貸借対照表を正確かつ明瞭に作成することができるか。 ・知識・理解……………定期考査において、簿記の基本原理や経営活動に伴う取引を、合理的に処理できる能力を身につけているかどうかを評価する。

5 備考

<p>分からないところをそのままにしておくと、全てが分からなくなるので、必ず毎時間復習をしてください。</p>

教科(科目)	商業（財務会計Ⅰ）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	新財務会計Ⅰ 新訂版 (実教出版)	副教材	最新段階式簿記検定問題集 1級会計		
履修条件	2年次に「簿記」を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

企業会計に関する法規、制度や財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、合理的な会計処理を行うとともに、財務諸表を理解する能力を身につけさせるための学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕訳を確実に理解させる ・ 勘定科目、財務諸表の雛形を理解させる ・ 財務諸表の意味を理解させ、そこから経営分析をする
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	会計の基礎	企業と会計 株式会社会計 企業会計制度	企業会計の意味と目的を理解させ、株式会社会計の仕組みと企業会計原則を理解させる。	15	小テスト 課題提出 定期考査
	貸借対照表	貸借対照表	貸借対照表の意味、分類（資産・固定資産・繰延資産・負債・純資産）について学習し、貸借対照表を作成させる。	55	
後期	損益計算書	損益計算書	損益計算書の意味を理解させる。 損益区分（営業損益・営業外損益・特別損益）について学習し、損益計算書を作成させる。	55	小テスト 課題提出 定期考査
	財務諸表の活用	財務諸表 (貸借対照表・損益計算書)	財務諸表の意味と役割を理解し、経営分析をするための知識を習得させる	15	

計 140 時間（50 分授業）

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度…企業の決算に対して興味を持ち、積極的に授業に参加している。 ・ 思考・判断・表現…財務分析を行い、企業の経営状況を考察することができる。 ・ 技能……………財務諸表を理解し、正確かつ明瞭に財務諸表を完成させることができる。 ・ 知識・理解……………定期考査において、企業会計の意味や目的、仕組み、財務諸表を完成させることができるかおよび財務分析が行うことができているかどうかを評価する。

5 備考

「原価計算」と同時履修すること。 簿記や原価計算同様、分からないところをそのままにしておくと、全てが分からなくなるので、必ず毎時間復習をしてください。
--

教科(科目)	商業（原価計算）	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	原価計算 新訂版（実教出版）	副教材	最新段階式簿記検定問題集原価計算（実教出版）		
履修条件	2年次に「簿記」を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>製造業における原価計算及び簿記に関する基本的な知識と技術を習得させ、原価について理解させるとともに原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原価計算の基礎的な技術を習得させる。特に適切な原価計算を用いた、明瞭かつ正確な計算能力の習得を目指す。 ・一連の記帳手続きを習得させ、報告書類の作成力の習得を目指す。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	原価計算の基礎	・原価と原価計算 ・原価計算のあらまし ・工業簿記	・原価の意味を理解する。 ・原価計算の目的と手続きについて理解する。	1 4	定期テスト 小テスト 提出物 授業態度
	原価の費目別計算	・材料費 ・労務費 ・経費	・原価計算特有の勘定科目と記帳方法について理解する。 ・材料仕入帳、材料仕訳帳の作成。消費単価の計算など。 ・賃金支払帳の作成と賃金支払高の計算方法の理解。	10 10	
	原価の部門別計算と製品別計算	・個別原価計算 ・部門別個別原価計算	・経費仕訳帳の作成と経費の計算方法の理解。 ・原価計算表、原価元帳の作成。製造間接費配賦の理解。 ・部門費配分表、部門費振替表、製造部門費予定配賦表の作成。個別原価計算の全体的な流れを理解する。	5 15 15	
後期	製品の完成 ・販売と決算	・総合原価計算 ・製品の完成と販売 ・決算	・(単純・等級別・組別)総合原価計算表の作成。 ・工程別総合原価計算表の作成。副産物、作業くず、仕掛品の意味とその記帳方法の理解。	20 12	定期テスト 小テスト 提出物 授業態度
	原価情報の活用	・標準原価計算 ・直接原価計算	・製品の完成と販売に伴う記帳手続きを理解する。販売費及び一般管理費の記帳方法を理解する。 ・月次決算と年次決算の関係について理解する。製造原価報告書の作成。 ・標準原価計算の意義とその記帳方法について理解する。 ・直接原価計算による損益計算書の組み立て方を理解する。	1 8 15 8	
	記帳練習		・記帳練習により、原価計算一連の流れを全体的に理解する。	6	

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…製造業における原価計算に関する基本的な知識と技術に興味を持ち、学んだことをまとめたり確認したりしているか。 ・思考・判断・表現…原価計算から得られる情報を分析して、利益計画を考察することができるか。 ・技能……………適切な原価計算を判断して、計算・記帳を行うことができるか。 ・知識・理解……………定期考査において、原価計算の基本的な考え方や計算方法、材料費、労務費、経費の計算から製品の完成、販売までの製造業における簿記の特色を理解しているかどうかを評価する。
--

5 備考

<p>「財務会計Ⅰ」と合わせて履修する。簿記や財務会計Ⅰ同様、必ず毎時間復習する。</p>

教科(科目)	商業(情報処理)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(ビジネス・情報系列)
教科書	最新情報処理 新訂版 (実教出版)	副教材	全商情報処理検定問題集1級		
履修条件					

1 学習目標

2 指導の重点

情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。 ・コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	情報処理とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスと情報 ・ビジネスとコンピュータ ・ハードウェア ・ソフトウェア 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理の必要性を理解する。 ・情報処理におけるコンピュータの役割を理解する。 ・情報処理における表計算・DBソフトの役割を理解する。 ・ハードウェアの理解 ・ソフトウェアの理解 	5 5 5 15 5	授業態度 出席状況 定期テスト 提出物 実習
	表計算ソフトの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェア ・グラフの作成 ・データの検索 		18 17	
後期	データベースの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス情報とデータベース ・データベースの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・データベースの必要性を理解する。 ・リレーショナルデータベースの概要を理解する。 ・表の操作の概略を学びSQLを理解する。 	3 10 12	授業態度 出席状況 定期テスト 提出物 実習
	ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの概要と役割を理解する。 	10	
	モラルとセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の問題点とその対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関するモラルを身につける。 ・情報犯罪の被害者とならないようその知識を身につける。 	5 5	
	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬問題演習 		25	

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

関心・意欲・態度…	情報の意義や役割について関心を持ち、情報を適切に収集、処理して活用しようとする。
思考・判断・表現…	情報を収集、処理するために具体的なデータを用いて、実践的な実習をおこない処理された情報を分析しようとしている。
技能…	表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアなど適切なソフトウェアを用いて、ビジネスに活用できる情報を作り出そうとしている。
知識・理解…	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、それを実践するための知識を身につけている。

5 備考

--

教科(科目)	商業 (ビジネス情報)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(ビジネス・情報系列)
教科書	ビジネス情報 新訂版 (実教出版)	副教材			
履修条件	2年次「情報処理」を履修				

1 学習目標

2 指導の重点

コンピュータ・ネットワーク等の関連知識を学習するとともに、データベースの知識・技術や仕事・業務に関する基礎知識を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の情報化の必要性、情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識と技術を習得させる。 ・ビジネスに関する情報を表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。 ・ソフトウェアを利用したビジネス情報システムの開発について理解し、コンピュータを活用して業務を合理化、自動化するなど積極的に推進する創造的な能力と態度を育てる。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1章 情報化と社会	教科書 問題集 プリント	1. 業務の情報化	5	レポート 課題提出 定期考査 授業態度 出席状況
			2. エンドユーザコンピューティング	5	
			3. インターネットと新しいビジネス	5	
前期	第2章 表計算ソフトの活用	教科書 問題集 プリント	1. さまざまな集計	15	
			2. 最適解とシミュレーション	5	
			3. グラフの利用と回帰分析	5	
後期	第3章 自動化処理	教科書 問題集 プリント	4. 販売情報の分析	5	
			5. 財務情報の分析	5	
			1. 自動化と記録マクロ	5	
後期	第4章 データベースソフトウェアの活用	教科書 問題集 プリント	2. マクロの記述	15	
	第5章 システム開発の基礎		1. データベースの役割と活用	3	
				2. データベースの作成	5
		3. SQLでの操作	12		
後期	第6章 情報機器の導入と管理	教科書 問題集 プリント	1. システム開発の手順	10	
				2. 基本設計	3
				3. 外部設計	3
			4. データベース設計	3	
			5. データベースの作成	3	
			6. テストと保守	3	
			1. ハード・ソフトの導入・管理	5	
			2. ネットワークの管理	10	
			3. データ保護とセキュリティ管理	10	

計 140 時間 (50 分授業)

4 評価規準

関心・意欲・態度…	情報を主体的、積極的に活用し、情報活用のリーダーとなる意欲と態度を持っている。
思考・判断・表現…	適切な手段を用いて情報を収集・処理し、要求に応じた適切なシステム開発の要件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身につけている。
技能…	情報活用に必要な情報の分析手法、システムの開発、ネットワークの構築などの技能を身につけている。
知識・理解…	ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解するとともに、ビジネスにおける情報活用を実践するために必要な知識を身につけている。

5 備考

・2年次「情報処理」を履修し、コンピュータに関し、ある程度の知識と技能があることが履修の前提となります。
--

教科(科目)	家庭(子どもの発達と保育)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(生活福祉系列)
教科書	子どもの発達と保育(教育図書)	副教材			
履修条件	家庭科保育検定を受検すること				

1 学習目標

2 指導の重点

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識や技術を習得させる。また、子育て支援に寄与する能力を育てる。
---	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1章・子どもの発達の特性	・実習教材 ・保育人形 ・絵本	1 生涯発達における乳幼児期の重要性 2 発達と環境 3 発達観・児童観とは	16	・授業態度 ・定期考査 ・作品
	2章・子どもの発達過程	・画用紙 ・折り紙 ・童謡CD ・授業ワーク ・検定テキスト	1 身体発育と運動機能の発達 2 乳幼児のからだの発育 3 乳幼児期の発達の特徴 4 人間関係の発達 5 心の発達	20	・提出物 ・検定
	3章・子どもの生活	・検定DVD ・検定ワーク	1 子どもの健康と生活 2 子どもの食事 3 子どもの衣服 ・家庭科保育検定受検	14 18	
	定期考査			2	
後期	3章・子どもの生活	・実習教材 ・保育人形	4 子どもの遊びと生活 5 子どもの健康管理	12	・授業態度 ・定期考査
	4章・子どもの保育	・絵本・紙芝居 ・画用紙 ・折り紙	1 保育の意義と目標 2 保育の方法 3 保育の環境	14	・作品 ・提出物 ・検定
	5章・子どもの福祉と子育て支援	・授業ワーク ・検定テキスト ・検定DVD ・検定ワーク	1 子どもの福祉 2 子育て支援 ・絵本の製作 ・家庭科保育検定受検	10 14 18	
	定期考査			2	

4 評価規準と評価方法

計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 …子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。 ・思考・判断・表現 …子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見だし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身につけている。 ・技能 …子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。 ・知識・理解 …子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を身につけている。 <p>以上の観点をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み(授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・提出物(ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭(生活と福祉)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(生活福祉系列)
教科書	生活と福祉(実教出版)	副教材			
履修条件					

1 学習目標 2 指導の重点

<p>高齢者の生活に関心を持ち、適切な介護をするために必用な知識と態度を身につける。</p>	<p>・高齢社会に対応し高齢者の福祉と日常生活における看護・介護について学ばせる。 ・実習や体験活動を通して、実践的態度を身につけさせる。 ・高齢者の介護などに関する基礎的・基本的知識を身につけさせる。</p>
--	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1章 人の一生と生活・健康	・プリント ・DVD ・点字板 ・点筆 ・折り紙等	①健康とは ②高齢社会における健康とQOL	7	・授業態度 ・提出物 ・ワークシート ・定期考査
	1節 健康の概念		③健康に影響を及ぼす要因		
	2節 ライフステージと健康管理		①ライフステージと健康 ②生活習慣と健康	5	
	2章 高齢化の現状と高齢者の特徴				
	1節 高齢化の現状		①人口の高齢化 ②家族・地域の変化	6	
	2節 高齢者の心身の特徴と病気		①高齢者の心身の特徴 ②高齢者の病気	12	
後期	3節 高齢者の生活課題と施策	①高齢者の生活課題 ②高齢社会に対する施策	12		
	3章 高齢者の自立生活支援				
	1節 自立生活支援の基本となる考え方	①尊厳・ノーマライゼーション ②自立生活支援の意義	10		
	2節 高齢者介護	③地域包括ケアシステムをめざした地域の役割			
	定期考査	①高齢者介護の考え方 ②麻痺・視聴覚障害・認知症の介護	16		
			2		
後期	4章 高齢者支援の法律と制度	・プリント ・DVD ・ベッド ・車椅子 ・杖 ・介護用寝間着 ・オムツ ・血圧計 ・体温計 ・清拭綿 ・消毒薬	①社会保障・社会福祉制度のしくみ	8	・授業態度 ・提出物 ・ワークシート ・定期考査
	1節 社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ		②高齢者福祉のあゆみ		
	2節 介護保険制度		①介護保険制度スタートガイド ②介護保険制度のしくみ	8	
	3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム		①地域包括ケアシステム	6	
	5章 介護・看護の実習と生活支援		②高齢者支援を支える制度と課題		
	1節 介護の実習		①体位変換 ②ベッド上の体位変換 ③歩行介助	20	
後期	2節 看護の実習	④車椅子の移乗・移動の介護 ⑤食事の介助	18		
		⑥ベッドメイキング ⑦衣服の着脱の介護			
		⑧身体の清潔の介護 ⑨排泄の介護			
		⑩家庭看護の意味 ②バイタルサインの見方			
後期	3節 生活支援	③口腔の清潔 ④誤嚥と窒息 ⑤転倒と骨折	8		
	定期考査	⑥低温火傷 ⑦脱水 ⑧熱中症 ⑨高血圧と低血圧	2		

4 評価規準と評価方法 計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 …高齢者の健康と生活、介護などに関心を持ち、高齢者と積極的に関わり、適切な生活援助や介護をしようとする意欲と態度を身につけている。 ・思考・判断・表現 …生活の質を高めるとともに、高齢者の健康管理や自立生活支援について課題を見だし、思考を深め、適切に判断し、創造工夫し表現する能力を身につけている。 ・技能 …高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する技術を身につけている。 ・知識・理解 …高齢者の健康と生活、介護など、高齢者の健康管理や自立支援に関する知識を身につけている。 <p>以上の観点をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み(授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・提出物(ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。

5 備考

受講可能人数 20名

教科 (科目)	家庭 (リビングデザイン)	単位数	2 単位	学年(系列)	2 学年 (生活福祉系列)
教科書	リビングデザイン (実教出版)	副教材			
履修条件	「社会福祉基礎」を同時選択すること				

1 学習目標

2 指導の重点

生活と住居, 住居の設計, インテリアなどに関する知識と技術を習得させ、快適な住空間をデザインする能力と態度を養う。	リビングデザインに必要な知識と技術を通して、生活と住居のかかわりや快適な住空間に関心を持たせ、住居の設計や平面計画, インテリアデザインができる能力と実践的態度を育成することに重点をおく。
--	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1. 住生活と住居の変遷	・プリント ・DVD ・平面図計画シート ・ワークシート	1 住居の変遷と住意識	14	・定期考査 ・授業態度 ・プリント ・ノート提出 ・DVD感想等
	2. 住生活と環境		2 気候風土と住居		
	3. 住居の選択と管理		3 生活様式と住居 : 遺跡の模型製作		
後期	定期考査		1 自然環境と社会環境	6	
			2 健康的で快適な室内環境 : 近辺探訪		
			3 住居の管理		
後期	4. 住居の設計	・インテリアブック ・ワークシート ・色鉛筆	1 設計	16	・定期考査 ・プリント ・授業態度 ・制作作品 (平面図・住宅模型・インテリア等) ・ノート提出
	5. インテリア		2 住居の計画		
	6. 住生活の充実、向上		3 図面をよむ		
後期	定期考査		4 図面をかく	3	
			1 インテリアの基本		
			2 各室のインテリア計画		
後期			1 住生活の現状	4	
			2 これからの住まいと生活		
				2	

4 評価規準と評価方法

計70時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 …住居の機能、住空間の計画、住環境など住生活の科学と分化に関心を持ち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。 ・思考・判断・表現 …気候や風土に応じた各地域の住居の特徴や変遷について考え、思考を深めている。また、ライフスタイルや価値観に応じた適切な住居の選択について考え、工夫している。 ・技能 …住居の平面図を正確に描ける。主体的に住生活を営むためのインテリアデザインなどができる。 ・知識・理解 …住居の文化的な側面から、様々な住様式について理解している。住居の機能や住空間の計画について科学的に理解している。 <p>以上の観点をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み (授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・提出物 (ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。
--

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭 (ファッション造形基礎)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年(生活福祉系列)
教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)	副教材			
履修条件	被服製作技術検定を受検すること。3年次「ファッション造形」の選択希望者は選択必須。				

1 学習目標

2 指導の重点

被服構成の基礎、技法、被服材料など被服製作に関する基礎的、基本的な知識と技術を学び主体的に被服を製作する力を身につける。	・被服製作に必要な基礎的な知識、技術を習得させる。 ・立体構成、平面構成の特徴を理解し、簡単な日常着の製作が出来るようにするとともに、家庭科技術検定被服製作4、3級の合格を目標とさせる。
--	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	・被服の構成	・検定テキスト ・検定問題集 ・ワークシート	・人体と被服 ・立体構成と平面構成	4	・授業態度 ・作品 ・ワークシート ・定期考査
	・被服材料		・被服材料の特徴と性能 ・用途に応じた被服材料の選択	4	
	・基礎縫い		・布地の扱い方、各種ミシンの操作 ・手縫い、ミシン縫いの基礎 ・家庭科被服製作技術検定 4級受験	22 8	
	・洋服製作の基礎		・採寸 ・型紙の基本	2	
	・立体構成の基礎的知識、技術 ・定期考査		・デザインと材料の選択・裁断 ・簡単な日常着の製作・・・アウターパンツ	4 24 2	
後期	・立体構成の基礎的知識、技術	・検定用型紙 ・検定テキスト ・検定問題集 ・ワークシート	・簡単な日常着の製作・・・アウターパンツ ・家庭科被服製作技術検定 3級受験	8 8	・授業態度 ・作品 ・ワークシート ・定期考査
	・和服製作の基礎		・和服の構成と名称 ・材料の選択 ・寸法の見積りと裁断 ・縫製 ・仕上げ ・和裁に必要な基礎縫い	2 2 16	
	・定期考査			32	
				2	
				2	

4 評価規準と評価方法

計140時間(50分授業)

・関心・意欲・態度……衣服の構成・材料・製作について関心をもち、衣生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむとともに、衣服を創造的に製作する態度を身につけている。 ・思考・判断・表現……衣服製作について、目的に応じてどのような材料・デザインが適切かを思考、判断し、自身の衣生活において表現する力を身につけている。 ・技能……製作題材に応じた技法を用い、計画的、能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身につけている。 ・知識・理解……衣服の構成・材料、製作の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身につけている。 ※以上の観点をふまえ、授業の取り組み(授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況)、提出物(ワークシート、課題) 定期テスト などから総合的に判断する。
--

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭 (ファッション造形)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年 (生活福祉系列)
教科書	ファッション造形 (実教出版)	副教材			
履修条件	2年次「ファッション造形基礎」を履修していること。				

1 学習目標

2 指導の重点

2年次の「ファッション造形基礎」で学んだ知識と技術を発展させ、被服を創造的に製作できる態度と能力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・じんべいと浴衣の製作を通して、和服に関するより専門的な知識と技術を習得させる。 ・我が国の民族服である和服の着装について学び、着付けの技術を習得させる。
---	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	・基礎縫い	・練習布	・和裁の技法、和裁の部分縫い	20	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・作品 ・提出物 ・定期考査 ・検定
	・じんべいの製作	・ワークシート ・検定テキスト ・検定問題集	・和服の製作—じんべい	48	
	・定期考査		・定期考査	2	
後期	・じんべいの製作	・検定テキスト ・検定問題集	・家庭科被服製作技術検定2級 (和服) 受検	8	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・作品 ・提出物 ・定期考査
	・ひとえ長着の製作 (浴衣)	・ワークシート ・練習布 ・浴衣反物	<ul style="list-style-type: none"> ・浴衣の構成 (男物、女物) ・基礎縫い (浴衣の部分縫い) ・和服の製作—浴衣 	2 6 42	
	・日本の民族服	・和装小物	<ul style="list-style-type: none"> ・着物と文化 ・浴衣の着装 	4 6	
	・定期考査		・定期考査	2	

4 評価規準と評価方法

計140時間 (50分授業)

<p>関心・意欲・態度…衣服の構成・材料・製作に関心をもち意欲的に取り組み、衣服を創造的に製作する態度を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現…衣服の製作について、目的に応じた材料、技法、デザインを選択し、製作に生かすことが出来る。</p> <p>技能…和服の構成や製図、材料、実習に必要な知識をもとに、能率的に製作を行う技能を身につけている。</p> <p>知識・理解…衣服の構成・材料・製作の理論・技術について理解し、製作に必要な知識を身につけている。</p> <p>以上の観点をふまえ</p> <p>※授業の取り組み(授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況)、提出物(ワークシート、課題)、定期考査 などから総合的に判断する。</p>

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭 (服飾手芸)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年 (生活福祉系列)
教科書	令和版 はじめての「ぬう」と「あむ」*おさいほう (主婦の友社)	副教材			
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>手芸の種類と変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を学び、作品を創造的に製作し、服飾に活用する能力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種手芸の種類と特徴、技法について理解させる。 各種手芸に関する基礎的な技術を身につけ、作品を製作することが出来るようにさせる。
---	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	<ul style="list-style-type: none"> 手芸の種類と特徴 各種手芸の技法と手芸品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 裁縫道具 アップリケ材料 編み物道具、毛糸 フランス刺繍材料 	<ul style="list-style-type: none"> 各種手芸の種類と特徴、その変遷 [アップリケ]	4	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 作品 定期考査 ワークシート
			<ul style="list-style-type: none"> アップリケの方法 [実習] アップリケのピンクッション [編み物] 編み物の特徴、材料と用具、編み図の見方	4	
後期	<ul style="list-style-type: none"> 手芸品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート パッチワーク材料 刺し子材料 編み物道具、毛糸 	<ul style="list-style-type: none"> かぎ針 (作り目、糸の持ち方) [実習] かぎ針で作る小物 [刺しゅう]	25	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 作品 定期考査 ワークシート
			<ul style="list-style-type: none"> フランス刺繍の特徴、基本のステッチ [実習] 刺繍の壁掛け	35	
後期	<ul style="list-style-type: none"> 手芸品の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート パッチワーク材料 刺し子材料 編み物道具、毛糸 	[パッチワークキルト] パッチワークの特徴、材料と用具、伝統的なパターンの名称、配色の基本、仕上げの技術	22	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 作品 定期考査 ワークシート
			[実習] 小物の製作 <ul style="list-style-type: none"> 四角と三角のパターン 色と柄の組み合わせ 裁断・縫い合せ方・縫いしろの処理 [刺し子]	18	
後期	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート パッチワーク材料 刺し子材料 編み物道具、毛糸 	<ul style="list-style-type: none"> 刺し子の特徴、伝統的な図案の種類と名称 基本的な刺し方、仕上げの技術 [実習] 刺し子のコースター、袋物の製作	28	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 作品 定期考査 ワークシート
			[編み物] 編み物の特徴、材料と用具、編み図の見方	2	
後期	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート パッチワーク材料 刺し子材料 編み物道具、毛糸 	<ul style="list-style-type: none"> 棒針 (作り目、糸の持ち方、メリヤス編み) [実習] マフラー製作	2	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 作品 定期考査 ワークシート

4 評価規準と評価方法

計140時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度・・・手芸の種類や特徴及び技法について関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。 思考・判断・表現・・・学習した知識や技術を生かし、創意工夫しながら作品製作ができる。 技能・・・各手芸技法に必要な基礎的・基本的な技術を習得し、作品を完成できる。 知識・理解・・・各手芸技法に必要な基礎的・基本的な知識を理解し、服飾手芸に活用できる。 <p>※以上の観点をつまみ、授業の取り組み(授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況)、提出物(ワークシート、課題)、定期テスト などから総合的に判断する。</p>

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭 (フードデザイン)	単位数	4 単位	学年(系列)	2 学年 (生活福祉系列)
教科書	フードデザイン(教育図書)	副教材			
履修条件	食物技術検定を受検すること。3年次「調理」選択希望者は選択必須。「社会福祉基礎」、「ファッション造形基礎」を同時選択すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を学び、食生活を総合的に捕らえて計画、実践できる態度を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の科学と文化に関心を持たせ、知識や理解の向上に努めさせる。 ・食生活の充実向上のために必要な知識、技術を身につけさせる。 ・食生活の問題や課題について考え、その解決を図ろうとする実践的態度を身につけさせる。
--	---

3 学習計画

学期	単元名	副教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	・ 食事の意義と役割	・ ワークシート ・ 食品模型 ・ 学習ノート ・ 検定テキスト	・ 食事の意義、役割、栄養や食品、調理の手法	10	・ 授業態度 ・ ワークシート ・ レポート ・ 定期考査
			・ 身体のしくみと食べ物	10	
	・ 栄養素の役割 ・ 栄養素の種類と働き		10		
	・ 調理の目的、おいしさ、調理器具と調理操作 ・ 調理実習		28		
	・ 定期考査			2	
後期	・ 食品の特徴	・ 検定テキスト ・ 検定練習問題	・ 食品の特徴と性質 ・ 食品の生産と流通	26	・ 授業態度 ・ ワークシート ・ レポート ・ 定期考査
	・ 食品の選択と調理		・ 食品の衛生と安全	4	
	・ 料理様式とテーブルコーディネート		・ 料理様式と献立 (日本料理、西洋料理、中国料理)	10	
			・ 調理実習	28	
	・ 定期考査		・ 食物調理技術検定3級受験	2	

4 評価基準と評価方法

計140時間 (50分授業)

<p>○関心・意欲・態度 食の役割に関心を持ち、調理計画を立てる実践的な態度を身につけようとしている。</p> <p>○思考・判断・表現 食生活の現状に課題を見つけ、思考を深める。</p> <p>○技能 調理、テーブルコーディネートなどに関する技術を習得することができる。</p> <p>○知識・理解 食事の意義と役割について理解するとともに豊かな食事を構成する要素として栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を習得することができる。</p> <p>以上の観点を踏まえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の取り組み (授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況など) ・ 提出物 (授業プリントや課題の提出) ・ 定期考査、などから総合的に評価します

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	家庭(調理)	単位数	4単位	学年(系列)	3学年(生活福祉系列)
教科書	調理I	副教材	未定		
履修条件	2年次「フードデザイン」を履修していること。「ファッション造形」を同時選択すること。食物調理技術検定を受検すること。				

1 学習目標

様式別調理, 大量調理などに関する知識と技術を習得させ, 健康の維持・増進に寄与する食生活の充実向上を図るとともに, 創造的に調理する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ・様式別調理と集団調理を代表的な内容として, 食生活の充実向上と調理に必要な知識と技術を習得させる。
- ・調理を通して食生活の充実向上に寄与する能力の育成を目指す。
- ・調理の理論と基礎的技術を踏まえて, 能率的・合理的に調理できるとともに創造的なアイデアを生かして調理ができる能力と実践的な態度を育てる。

3 学習計画

学期	単元	教材	学習内容(指導内容)	時間	評価方法
前 期	(1) 調理の基礎	・教科書 ・ワークシート	ア 調理の目的	1	・授業態度 ・ワークシート ・レポート ・定期考査
	(2) 調理用施設・設備, 熱源及び調理機器		イ 食品の性質	20	
	(3) 献立作成	ウ 調理の種類と基本操作	15		
	(4) 様式別の献立と調理	ア 献立作成の意義	10		
後 期	(5) 目的別・対象別の献立と調理	・教科書 ・ワークシート	イ 栄養計算	22	・授業態度 ・ワークシート ・レポート ・定期考査
			ア 日本料理	2	
	イ 西洋料理				
	ウ 中国料理				
	エ その他の料理				
(6) 大量調理	家庭科食物調理技術検定2級受験	2			
後 期	(7) 食事環境とサービス	・教科書 ・ワークシート	ア 日常食	15	・授業態度 ・ワークシート ・レポート ・定期考査
			イ 行事食・供応食	6	
	ウ 病気時の食事		4		
	エ 幼児と高齢者の食事		10		
後 期	(7) 食事環境とサービス	・教科書 ・ワークシート	ア 大量調理の種類と特徴	4	・定期考査
			イ 大量調理の組織と管理	6	
			ウ 献立作成と調理	23	
				2	

計140時間(50分授業)

4 評価基準と評価方法

<p>○関心・意欲・態度 調理の基礎、様式別調理と目的別・対象別の調理について関心を持ち献立を作成して調理する意欲態度を身につけようとする</p> <p>○思考・判断・表現 食生活の充実向上を図るとともに創造的に調理する判断力、表現力を深める。</p> <p>○技能 調理に関する技術を習得することができる。</p> <p>○知識・理解 調理の目的、食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作及び調味の方法と特徴などの調理理論について理解する</p> <p>※以上の観点を踏まえ、授業の取り組み(授業態度・実習の様子・学習活動への参加状況など)、提出物(授業プリントや課題の提出)、定期考査 などから総合的に評価します</p>
--

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	福祉 (社会福祉基礎)	単位数	2 単位	学年(系列)	2 学年 (生活福祉系列)
教科書	社会福祉基礎 (実教出版)	副教材			
履修条件	「リビングデザイン」を同時選択。3年次「生活支援技術」「コミュニケーション技術」選択希望者は必須				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>社会福祉に関する基礎的な知識と技術を身につけ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解し、社会福祉の向上を図る能力などを養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉に関する基礎的な知識を習得させる。 ・社会福祉の歴史を理解し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させる。 ・各分野における福祉の制度を理解し、生活と福祉の関連を理解する。
---	--

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1編 社会福祉の理念と意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・視聴覚教材 	1 生活と福祉	13	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・定期考査
	2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題		2 社会福祉の理念		
	3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度		3 人間の尊厳と福祉社会の創造		
後期	3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・視聴覚教材 	1 諸外国における社会福祉	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
	4編 人間関係とコミュニケーション		2 日本における社会福祉		
	5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度		<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡の福祉の現状 (グループ活動による調べ学習) 		
	定期考査		1 社会福祉・社会保障制度の意義と役割	6	
			2 子ども家庭福祉	2	
後期	3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・視聴覚教材 	3 障害者福祉	21	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・提出物 ・定期考査 ・ワークシート
	4編 人間関係とコミュニケーション		4 高齢者福祉		
	5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度		5 生活支援のための公的扶助		
	定期考査		6 国民生活を支える社会保障制度	6	
			1 コミュニケーションの基礎	6	
			2 援助における人間関係の形成	6	
			3 社会福祉援助活動の概要	6	
			1 地域福祉の進展と地域の将来	6	
			2 多様な社会的支援制度	6	
			3 社会福祉の将来と福祉の担い手	6	
	定期考査			2	

4 評価規準と評価方法

計70時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…社会福祉に対する関心を高め、福祉社会が抱える課題に意欲と実践的な態度を身に付けている。 ・施行・判断・表現…社会福祉の諸課題の解決に向け、創意・表現する能力を身に付けている。 ・技能 …社会福祉の理念について資料、情報を適切に活用し、的確にまとめる技術を身に付けている。 ・知識・理解 …自立生活支援や社会福祉の基礎的な知識を身に付けるとともに理念と意義・役割を理解している。 <p>以上の観点をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み (授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・提出物 (ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。

5 備考

<p>受講可能人数 20名</p>

教科(科目)	福祉 (コミュニケーション技術)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年 (生活福祉系列)
教科書	コミュニケーション技術 (実教出版)	副教材			
履修条件	2 年次「社会福祉基礎」を履修していること。「生活支援技術」を同時選択すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

コミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得させ、介護福祉援助活動で活用する能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの大切さと役割を理解させる。 ・基本的な技術を習得させる (手話・点字を含む)。 ・利用者に応じたコミュニケーションの知識と態度を理解させる。 ・チームによる連携の重要性と知識・態度を理解させる。
---	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1 編 介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ビデオ ・実習教材 ・造形の本 	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニケーションの意義と役割 ②コミュニケーションの基本技術 ③援助の技法とコミュニケーション ④高齢者施設訪問 	12 16 4 12	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・レポート ・定期考査 ・ワークシート
	2 編 サービス利用者や家族とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・画用紙 ・折り紙 	<ul style="list-style-type: none"> ①サービス利用者や家族との関係づくり ②サービス利用者に応じたコミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者とのコミュニケーション ・障害とコミュニケーション ・視覚障害者とのコミュニケーション 	12 12	<ul style="list-style-type: none"> ・作品提出
	定期考査			2	
後期	3 編 介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・ビデオ ・実習教材 ・絵本 ・点字器 ・点字用紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人とのコミュニケーション (聴覚・言語・運動機能・知的・認知症) ・点字・手話などの演習 ③施設訪問 ①記録 ②チームによる連携 ③スーパービジョンの技法 	50 4 14	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・レポート ・定期考査 ・ワークシート ・作品提出
	定期考査			2	

4 評価規準と評価方法

計140時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度 …コミュニケーションについて関心を持ち、サービス利用者・家族と適切な人間関係を形成するために主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 ・思考・判断・表現 …サービス利用者・家族と適切な人間関係を形成するためのコミュニケーションの基礎について思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 ・技能 …信頼関係を構築するためにコミュニケーションに関する基礎的な技術を身に付け、コミュニケーションに関する諸活動にその技術を適切に活用している。 ・知識・理解 …サービス利用者・家族と介護従事者との人間関係とコミュニケーションに関する基礎的な知識を身に付け、コミュニケーションの持つ意義や役割を理解している。 <p>以上の観点をふまえて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組み (授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・提出物 (ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。
--

5 備考

受講可能数 20名

教科(科目)	福祉 (生活支援技術)	単位数	4 単位	学年(系列)	3 学年 (生活福祉系列)
教科書	生活支援技術 (実教出版)	副教材			
履修条件	2年次「社会福祉基礎」を履修していること。「コミュニケーション技術」を同時選択すること。				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>介護に関する知識と技術を習得させ、自立に向けた適切な介護技術を用いて安全に支援できる能力と態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させる。 ・個人の尊厳の保持や自立支援の考え方、多職種連携などの知識を活用できるように育てる。 ・介護観や倫理観を育成し、自ら判断し適切かつ安全に介護できる能力を育てる。
---	---

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1. 私たちの暮らしと生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・校外実習 ・ビデオ 	(1)生活支援の理解 (2)生活支援に向けたアセスメント <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習 	12 8	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・実技試験 ・定期考査
	2. 自立に向けた生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・実技材料 ・調理材料 	(1)居住環境の整備 (2)家事の介護 (3)身じたくの介護 (4)移動の介護 (5)食事の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習 ・実技・調理実習 	48	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート
	定期考査			2	
後期	2. 自立に向けた生活支援技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・校外実習 ・ビデオ ・実技材料 ・調理材料 	(6)入浴・清潔保持の介護 (7)排泄の介護 (8)睡眠の介護 (9)レクリエーションにおける介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ・校外実習 ・実技・調理実習 	50	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・実技試験 ・定期考査 ・ワークシート ・レポート
	3. 終末期・緊急時の介護		(1)終末期の介護 (2)緊急時の介護 <ul style="list-style-type: none"> ・救命講習会 ・普通救命講習会 	18	
	定期考査			2	

4 評価規準と評価方法

計140時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度 …自立を支援する介護のあり方に関心、意欲を持って学び、加えて知識の定着と技術の向上を目指す態度を身に付けている。 ・ 思考・判断・表現 …介護を実践していく上でその望ましい方法を利用者視点で考え表現する能力を身に付けている。 ・ 技能 …基礎的な介護の知識のもと、利用者の生活状況を的確に把握し自立と安全を重視した活動を実践していく能力を身に付けている。 ・ 知識・理解 …基礎的な介護のあり方、介護実践の根拠となる人体の構造や機能について理解し知識として身に付けている。 <p>以上の観点をふまえ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の取り組み (授業態度、実習の様子、学習活動への参加状況) ・ 提出物 (ワークシート、課題の提出) ・定期テスト などから総合的に判断する。
--

5 備考

受講可能人数 20名

教科(科目)	地域学(音楽総合A)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(自由選択系列)
準教科書	能・狂言を楽しむ本(株式会社主婦と生活社)		副教材		
履修条件					

<p>1 学習目標</p> <p>・「生きる力」を育み、音楽の諸活動の中で、基礎的、基本的な知識および技能を確実に習得させ、美しいものや自然に感動する柔らかな感性の育成を目指す。</p>	<p>2 指導の重点</p> <p>・課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす指導の充実を図る。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	楽典	ビデオDVD	・音符・音楽用語等の楽譜に関する復習をさせる。 ・音楽の基本をビデオDVD鑑賞で学習する。	3	授業の取組状況、ノート記載内容提出状況、小テスト理解度、実技テスト
	歌唱	補足資料	・視唱練習 課題曲独唱 (楽譜の読み方、リズム、技能面ともに応用力を学ばせる。)	6	実技テスト
	器楽	各種楽器	・ギター・リコーダー・ピアノ等楽器の基本的な演奏方法を学ばせる。 (楽譜の読み方、リズム、技能面ともに応用力を学ばせる。)	22	実技テスト
	狂言鑑賞	狂言のDVD	・狂言について学びDVD鑑賞させる。 ・能舞台・衣装・所作等	4	狂言のDVDを鑑賞後の感想文の内容と提出状況
後期	自由課題(生徒個々)	ワークシート (課題や学習計画)・各種器楽・楽譜	・生徒個々が、器楽・歌唱について自由課題を決めて、発表する。 (前期に学習した器楽・歌唱の中から興味・関心のあったものを選択し、学習計画を立てて練習させる。)	14	授業の取組状況、ワークシート課題や学習計画の記載内容や提出状況、生徒個々やグループでの演奏実技テスト、グループの演奏発表内容
	創作	ワークシート (課題や学習計画)	・替え歌、好きな曲の和声、旋律作りを少人数で取り組み発表させる。	6	
	自由課題(グループ)	ワークシート (課題や学習計画)・各種器楽・楽譜	・4~6人のグループで課題を決めて、発表する。 (生徒個々、グループの実技や創造力を十分に発揮させ、グループでの音楽活動を通じて互いを尊重し、思いやる心も身に付けさせる。)	15	

計70時間(50分授業)

4 評価基準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・生徒個々やグループにおいて、音楽活動に対する取り組み方や地域の伝統文化である能・狂言について興味・関心を持って積極的に取り組んでいる。 ・思考・判断・表現・・・生徒個々やグループが発表内容を検討し演奏や歌唱ができたか、また、発表方法を工夫しグループメンバーが協力して発表ができる。 ・技能・・・・・・・・・・・・・・ 生徒個々やグループでの役割を理解し、各種楽器の演奏方法や歌唱方法において技能が身に付いている。 ・知識・理解・・・・・・・・・・・・ 狂言の歴史、表現方法、楽譜の読み方や生徒個々、グループでの演奏方法・歌唱方法を小テスト・演奏の実技テスト(グループ・個人)とおして理解している。

5 備考

なし

教科(科目)	地域学(音楽総合B)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年(自由選択系列)
準教科書	能・狂言を楽しむ本(株式会社主婦と生活社)	副教材			
履修条件					

<p>1 学習目標</p> <p>・「生きる力」を育み、音楽の諸活動の中で、基礎的、基本的な知識および技能を確実に習得させ、美しいものや自然に感動する柔らかな感性の育成を目指す。</p>	<p>2 指導の重点</p> <p>・課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす指導の充実を図る。</p> <p>・ピアノ技法・弾き語り・リトミックを学習させる。</p> <p>(1) 楽典について (2) 器楽の演奏について (3) 歌唱について (4) 能の鑑賞について (5) リトミックについて (6) 自由課題について</p>
---	--

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	楽典	課題プリント	・音符・音楽用語等の楽譜に関する復習をさせる。	2	授業の取組、提出状況
	器楽	各種楽器、楽譜	・ギター・ピアノ等楽器の基本な演奏方法を学習する。(楽譜の読み方、リズム、技能面ともに応用力を学ばせる。)	24	確認テスト理解度、実技テスト
	伝統芸能	佐渡学	・佐渡おけさを学習させる。(篠笛・三味線・踊り・歴史等)	5	単元確認提出
	能鑑賞	能 DVD	・能について学び DVD 鑑賞させる。	4	単元確認提出
後期	リトミック		・身体を使って表現力を学習させる。	3	授業の取組、
	器楽		・ギター・ピアノ伴奏での弾き語りをさせる。(童謡等の課題を学習)	16	確認テスト理解度、実技テスト
	自由課題	各種楽器、楽譜ワークシート等(課題や学習計画)	・生徒個々に楽器演奏や歌唱の課題を見つけ学習させる。 ・前期に学習した楽器・歌唱の中から興味・関心のあったものを選び計画を立て練習させる。	16	確認テスト理解度、実技テスト

計70時間(50分授業)

4 評価基準

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 音楽活動に対する取り組み方や地域の伝統文化である能について興味・関心を持って積極的に取り組んでいる。 ・思考・判断・表現…… 演奏や歌唱ができる。また、発表方法を工夫し表現豊かに発表ができる。 ・技能…… 各種楽器の演奏方法や歌唱方法において技能が身に付いている。 ・知識・理解…… 能の歴史、表現方法、楽譜の読み方や伴奏方法、歌唱方法を小テスト・演奏の実技テストをとおして理解している。

5 備考
なし

教科(科目)	地域学(書道講座)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(自由選択系列)
準教科書	実用書道楽しい暮らしの書(日本放送出版協会)	副教材	なし		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>・書の幅広い創作活動を通して美的体験を豊かにし、書を愛好する心情や態度を育てるとともに、書文化についての理解を深め、感性や個性豊かな書の高め、生涯にわたって書と関わっていく資質を養う。</p>	<p>・書の文化を日々の生活の中で発見し、また筆で遊ぶ感覚で書を楽しみ、生涯をとおして書を愛好する心を育む。(1)生活の中の書を書く、(2)筆で年賀状や手紙を書く、(3)詩、俳句、短歌を書く、(4)表具について、(5)いろいろな素材に書く学習を重点に指導する。</p>
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	ガイダンス	ガイダンス用の説明プリント	・年間計画を説明する。	2	授業の取組状況、完成した作品の内容や提出状況
	生活の中の書について		・日常生活の中にある書について説明する。	3	
	筆で年賀状や手紙を書く	便箋、巻紙、はがき	・手紙やはがきの様式とマナーについて学ばせる。年賀状、はがき、手紙を書かせる。	3	
	俳句、短歌、詩歌を書く	見本の俳句、短歌、詩歌の書	・書における表現の工夫について学ばせる。(運筆のリズムと墨の美しさ、用具用材の工夫、構成と作品イメージさせる。)・作品制作をする。(俳句、短歌、詩歌や好きな言葉を書かせる。)	12	
後期	表具について	刷毛、裏打ちがみ、ベニヤ板、布	・表具の制作方法を学ばせる。 ・俳句、詩歌作品等の裏打ちを学ばせる。 ・パネル、色紙掛け等の制作を学ばせる。 ・パネルや色紙掛け等への貼り込みを学ばせる。	18	授業の取組状況、完成した作品の内容や提出状況、鑑賞した書道作品の感想の報告レポート)内容と提出状況
	いろいろな素材に書く	CDカセットケース、うちわ、ランチョンマット、Tシャツ	・オリジナルCDカセット、うちわ、ランチョンマットに書を書く方法を学ばせる。 ・Tシャツを染める方法を学ばせる。	13	
	地域に残る書道作品の鑑賞	地域に残る書道作品	・書道作品を鑑賞させ、感想を報告書(レポート)まとめさせる。	4	

計70時間(50分授業)

4 評価規準

<p>・関心・意欲・態度…… 書道に対する取り組み方や地域に引き継がれている伝統文化の書道について興味・関心を持って積極的に取り組んでいる。</p> <p>・思考・判断・表現…… それぞれの作品内容に合った書き方を選択し必要な材料、道具を理解して、創造的な作品ができる。</p> <p>・技能…… 筆の使い方、様々な素材に書く方法の技術が身に付いている。</p> <p>・知識・理解…… 書道をとおして日本や地域文化を理解し、作品制作方法や鑑賞を能力が身に付いている。</p>
--

5 備考

なし

教科(科目)	地域学(書道探究)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年(自由選択系列)
準教科書	実用書道楽しい暮らしの書(日本放送出版協会)	副教材	なし		
履修条件	なし				

<p>1 学習目標</p> <p>・篆刻や刻字の幅広い創作活動を通して美的体験を豊かにし、書を愛好する心情や態度を育てるとともに、佐渡の碑や拓本への理解を深め、地域の発展に貢献できる資質を養う。</p>	<p>2 指導の重点</p> <p>・さまざまな題材について自己表現を展開すると同時に、佐渡の文化に対する理解を深めます。(1) 篆刻作品の制作の方法について学ぶ。(2) 刻字作品の制作の方法について学ぶ。(3) 拓本の歴史と種類や拓本の採り方について学ぶ。(4) 佐渡の碑の調査と解説をする。(5) 佐渡の書の鑑賞や書人の調査や発表をする。</p>
---	---

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	がダンス	がダンス用の説明プリント	・年間計画を説明する。	1	授業の取組状況、完成した作品の内容や提出状況 鑑賞した篆刻・刻字作品の感想・報告レポート内容と提出状況
	篆刻作品の制作	辞書、印材、印刀	・篆刻作品について説明をする。 ・篆刻作品の制作方法を学習させる。 ・印の刻ませ方法、用具の使い方を学習させる。 ・完成した篆刻作品を鑑賞する。	17	
後期	刻字作品の制作	桂材、流木、ノミ、木槌	・刻字作品の制作方法を学習させる。原稿づくり、用具の使い方と彫りかたの種類、着色について学習させる。 ・桂材や流木を使って刻字作品を制作させる。 ・完成した刻字作品を鑑賞する。	17	授業の取組状況、完成した作品の内容や提出状況、鑑賞した碑や書の感想・報告レポート内容と提出状況
	拓本について	タンポ、墨、刷毛	・拓本の歴史と種類を説明する。 ・拓本の採り方を学習させる。タンポづくり、レプリカでの拓本の採り方、校地内の碑の拓本の採り方、裏打ちの方法と表具の方法について学習させる。	15	
	佐渡の碑について	校地内や佐渡地域に残る碑	・佐渡の碑について説明する。 ・佐渡の碑を調査や読解をさせる。 ・佐渡の碑を鑑賞する。	10	
	佐渡の書について	佐渡の書人、文人の書	・佐渡の書について説明する。 ・佐渡の書人や文人の書を調査させる。 ・佐渡の書人や文人の書を鑑賞する。	10	

計70時間(50分授業)

4 評価規準
<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 作品制作に対する取り組み方や佐渡地域に引き継がれている伝統文化の書道について興味・関心を持って積極的に取り組んでいる。 ・思考・判断・表現…… それぞれの作品内容に合った必要な材料、道具を選択し、創造的な作品製作ができる。 ・技能…… 篆刻、刻印作品制作と拓本作品の道具の使い方、刻み・彫りの方法や採り方の技術が身に付いている。 ・知識・理解…… 作品をとおして佐渡の地域文化を理解し、作品制作方法や鑑賞を能力が身に付いている。

5 備考
なし

教科 (科目)	地域学 (地域学A)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(自由選択系列)
教科書	日本文教出版 工芸 I	副教材	なし		
履修条件	なし				

<p>1 学習目標</p> <p>・陶芸 (無名異焼) や竹細工の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、陶芸や竹細工を愛好する心情や態度を育てるとともに、伝統文化への興味・関心を高め、地域の発展に貢献できる資質を養う。</p>	<p>2 指導の重点</p> <p>・陶芸や竹細工の易しい制作をとおして、(1) 佐渡の陶芸の歴史と釜の分布、(2) 土練りから器の完成まで (工程説明)、(3) ろくろによる湯呑み・茶碗・大皿等の制作、(4) 佐渡の竹細工の歴史 竹とその特性、(5) 材料づくりとその道具、(6) 作品の制作 伝統的工芸について、学習することを重点に指導する。</p>
--	---

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	ガイダンス	ガイダンス用の説明プリント	・年間計画を説明する。	2	授業の取組状況、ワークシートの内容と提出状況、完成した作品の内容や提出状況、
	佐渡の陶芸の歴史と釜の分布	補足プリント ワークシート (制作工程の作成)	・陶芸の歴史を学びながら、地域への興味・関心を持たせる。 ・器が完成するまでのそれぞれの工程の意味を理解させる。	2 5	
後期	土練りから器の完成まで (工程説明)	粘土、ろくろ、ヘラ、コテ、	・ろくろによる湯呑み・茶碗・大皿等の制作を通して伝統工芸を理解させる。 ・陶芸に対する知識や技術を習得させる。	2 6	
	実習 (作品の制作)	カンナ、切り糸、セーム皮、かめ板等			
前期	佐渡の竹細工の歴史	佐渡の竹細工の歴史の説明プリント	・竹細工の歴史を学びながら、地域への関わりを学ばせる。	2	授業の取組状況、ワークシートの内容と提出状況、完成した作品の内容や提出状況
	佐渡の竹とその特性	ワークシート (制作工程の作成)	・佐渡に生育する竹の種類と、その特性を理解させる。 ・実習に必要な材料づくりと、それに必要な道具を理解させる。	2 5	
後期	材料づくりとその道具	鉋、鋸、小刀、木槌、定規、	・立体的な制作を通して伝統工芸を理解し、その知識や技術を習得させる。	2 6	
	実習 (作品の制作)	紙やすり等			

4 評価規準 計70時間 (50分授業)

・関心・意欲・態度……	授業に対する取り組み方や地域の地域に引き継がれている伝統文化 (陶芸・竹細工) について興味・関心を持って積極的に取り組んだかについて評価する。
・思考・判断・表現……	それぞれの作品制作の工程を理解し制作に必要な材料、道具を理解して、創造的な作品ができたかについて評価する。
・技能……	陶芸、竹細工作品の制作に必要な材料、道具について選択し、作品制作する技術が身に付いているかについて評価する。
・知識・理解……	陶芸、竹細工作品制作をとおして日本や地域文化について理解し、作品制作方法が身に付いているかについて評価する。

5 備考	なし
------	----

教科 (科目)	地域学 (地域学B)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年(自由選択系列)
教科書	日本文教出版 工芸 I	副教材	なし		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>・陶芸や竹細工の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、陶芸や竹細工を愛好する心情や態度を育てるとともに、伝統文化への興味・関心を高め、地域の発展に貢献できる資質を養う。</p>	<p>・陶芸や竹細工の易しい制作をとおして、(1) 佐渡の陶芸の歴史と釜の分布、(2) 土練りから器の完成まで (工程説明)、(3) 自動ろくろによる湯呑み・コーヒーカップ・茶碗・大皿等の制作、(4) 佐渡の竹細工の歴史 竹とその特性、(5) 材料づくりとその道具、(6) 果物かごやざるの作品の制作 伝統的工芸について、学習することを重点に指導する。</p>
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	ガイダンス	ガイダンス用の説明、補足プリント	・年間計画を説明する。	2	授業の取組状況、ワークシートの内容と提出状況、完成した作品の内容や提出状況、
	陶芸の歴史と釜の分布		・佐渡の陶芸の歴史を学びながら、地域への興味・関心を持たせる。	2	
	土練りから器の完成まで (工程説明)	ワークシート (制作工程の作成)	・器が完成するまでのそれぞれの工程の意味を理解させる。	5	
	実習 (作品の制作)	粘土、ロクロ、ヘラ、コテ、カンナ、切り糸、セーム皮、かめ板等	・自動ろくろによる湯呑み・コーヒーカップ・茶碗・大皿等の制作を通して伝統工芸を理解させる。 ・陶芸に対する知識や技術を習得させる。	2 6	
後期	竹細工の歴史	佐渡の竹細工歴史の説明プリント	・佐渡の竹細工の歴史を学びながら、地域への関わりを学習させる。	2	授業の取組状況、ワークシートの内容と提出状況、完成した作品の内容や提出状況
	竹とその特性	ワークシート (制作工程の作成)	・佐渡に生育する竹の種類と、その特性を理解させる。	2	
	材料づくりとその道具	鉋、鋸、小刀、木槌、定規、紙やすり等	・実習に必要な材料づくりと、それに必要な道具を理解させる。	5	
	実習 (作品の制作)		・果物かごやざるなどの制作を通して伝統工芸を理解し、その知識や技術を習得させる。	2 6	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

・関心・意欲・態度……	授業に対する取り組み方や地域の地域に引き継がれている伝統文化 (陶芸・竹細工) について興味・関心を持って積極的に取り組んだかについて評価する。
・思考・判断・表現……	それぞれの作品制作の工程を理解し制作に必要な材料、道具を理解して、創造的な作品ができたかについて評価する。
・技能……	陶芸、竹細工作品の制作に必要な材料、道具について選択し、作品制作する技術が身に付いているかについて評価する。
・知識・理解……	陶芸、竹細工作品制作をとおして佐渡や地域文化について理解し、作品制作方法が身に付いているかについて評価する。

5 備考

なし

令和3(2021)年度入学生の教育課程

学年	系列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
一年次		国語総合					世界史A		数学I			数学A		科学と人間生活		体育		保健		音楽美術書道		コミュニケーション英語I			家庭基礎		社会と情報		産業社会と人間		HR	総合的な探求の時間	

系列	必履修科目	専門選択科目群										自由選択科目群		「J」条件付科目			
		A2	B2	C2	D2	E2	F2	G2	H2								
二年次	人文自然科学	現代文B	日本史A	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語II	政治・経済	古典A	世界史B		生物基礎	英語表現I	数学II 人文自然科学系列必修		HR	総合的な探求の時間
	物理基礎							地理B		数学B	草花						
	「農業と環境」 「果樹」選択							「食品製造」 「農業と環境」選択		「果樹」 「農業と環境」選択		草花					
	「工業技術基礎」 「測量」選択							「測量」 「工技基」選択		「生産システム技術」 「工技基」選択		情報技術基礎					
	「ビジネス基礎」 「簿記」選択							「情報処理」 「ビジネス基礎」選択		「簿記」 「ビジネス基礎」選択		ビジネス実務					
	「社会福祉基礎」 「リビ」選択							「リビングデザイン」 「社福基」選択	「フードデザイン」 「社福基」選択		「ファッション造形基礎」 「フード」選択		生活と福祉				
												書道講座 音楽総合A	地域学A				

系列	必履修科目	専門選択科目群										自由選択科目群		「J」条件付科目			
		A3	B3	C3	D3	E3	F3	G3	H3	I3	J3	K3					
三年次	人文自然科学	現代文B	現代社会	体育	コミュニケーション英語III		「古典B」 「古典A」履修	日本史B		「英語表現II」 「英表I」履修		国語表現	「数学B」 「数II」履修	現代文A	HR	総合的な探求の時間	
	化学				「生物」 「生基」履修 「物理」 「物基」履修		「数学III」 「数学II」「数B」履修										
	「総合実習」 「農環」「食製」履修				「作物」 「野菜」選択		「微生物利用」 「食製」履修		「野菜」 「作物」選択		「生物活用」 「農環」履修		グリーンライフ				
	「実習」 「工技基」履修				「材料技術基礎」 「実習」選択		「製図」 「実習」選択		「環境工学基礎」 「実習」選択		「社会基盤工学」 「実習」選択		工業数理基礎				
	「財務会計I」 「原価計算」選択				「原価計算」 「財務会計I」選択		「ビジネス情報」 「財務会計I」選択		「マーケティング」 「財務会計I」選択		「経済活動と法」 「財務会計I」選択		広告と販売促進				
	「生活支援技術」 「社福基」履修				「ファッション造形」 「ファ造基」履修		「調理」 「フードデ」履修		「コミュニケーション技術」 「社福基」履修		子どもの発達と保育 「社福基」履修		服飾手芸				
													書道探究 音楽総合B	地域学B			